

東京外国語大学概要

2002



TOKYO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

目次

Contents

挨拶.....	1
沿革.....	2
変遷.....	6
組織.....	10
歴代の校長・学長、名誉教授.....	12
役職員.....	13
職員.....	14
学部・大学院.....	15
学生数.....	16
外国人留学生.....	21
大学間等の連携.....	22
大学と社会の連携協力.....	23
卒業・修了.....	25
附属図書館.....	29
保健管理センター.....	31
国際交流会館.....	32
本郷サテライト.....	33
厚生施設.....	34
学内附属教育・研究施設.....	36
留学生日本語教育センター.....	38
アジア・アフリカ言語文化研究所.....	40
情報処理センター.....	42
国際交流.....	44
大学の財政状況.....	49
土地・建物.....	51
府中キャンパス.....	52
案内図・所在地.....	54

挨拶

Greeting



法人化を2年後に控えて、国立大学はいま新制大学発足以来最大の変革の時を迎えています。法人化後は、それぞれの大学が、一個の独立した法人として明確な展望と計画性を持って、教育研究と経営の両面でその社会的責任を果たしていかなければなりません。

幸いにして、本学は、こうした厳しい状況の中にあっても独立した大学法人としてその社会的責務を果たしていくことができる十分な条件を備えております。本学は100年以上に及ぶ歴史と伝統を通じて蓄積されてきた有形無形の資産を持っているだけではありません。地球社会化（グローバル化）が急速に進行していく現代世界において、日本を含む世界の言語、文化、社会について総合的な教育研究を行っている本学の存在意義はますます大きくなっています。本学は、そうした教育研究を支え発展させていく豊かな人材を有しております。また施設面においても、長年の懸案だった移転・統合計画が目下、順調に進捗しており、恵まれた自然環境と最先端の情報ネットワーク設備を持つ美しいキャンパスを持つにいたりました。

この新しい環境のなかで、本学は全学をあげて大学改革に取り組んでおります。本年1月には、本学のブランドデザインを策定しました。そこでは本学の基本的な目標として、(1)日本を含む世界諸地域の言語・文化・社会に関する教育と研究の拠点大学化、(2)大学間連携の拡大強化による教育研究の高度化の推進、(3)生涯学習やリカレント教育等を通じての社会に開かれた大学づくり、(4)学生支援システムの整備や多文化交流キャンパスの推進等によるキャンパスライフの充実、(5)基盤整備と効率的な大学運営を謳っています。この長期目標に沿って、いま私たちは教育と研究の質をいっそう向上させていこうと努力しているところです。

この4月からは、大学院博士前期課程で、国際協力、国際コミュニケーション、日本語教育の3つの専修コースを発足させました。これと連動させる形で、外国語学部でも高度専門職業人養成のための学部・大学院一貫特化コース開設に向けて準備が進められております。大学間の連携においては、「四大学連合」の一環として、本年4月から東工大との間に二大学間の複合領域コースとして「国際テクニカル・ライティング・コース」を開設しました。また「社会に開かれた大学づくり」の一環として、昨年秋、大学開放と社会貢献のための「大学開放企画室」を立ち上げ、多彩な企画に取り組んでいます。

キャンパス生活の充実に向けての努力も実を結びつつあります。本年4月には学生相談室が設置され、学生の課外活動を支援する学生後援会も発足しました。他方、来年度には留学生日本語教育センターの移転がいよいよ実現する見通しで、キャンパスの移転・統合が最終段階に入ります。これにより本学キャンパスでは600人以上の外国人学生が学び、しかもそのうち100名余が常時キャンパスに居住することとなり、キャンパスの国際化がいっそう進むこととなります。

本学附置の全国共同利用研究所であるアジア・アフリカ言語文化研究所では、昨年度、5年計画の「アジア書字コーパスに基づく文字情報学の創成」プロジェクトが、文部科学省のCOE（中核的研究拠点）形成プログラムの一つとして選定され、国際学界をリードする研究活動を展開しています。

本学が、世界諸地域の言語・文化・社会に関する教育研究拠点大学としての地位を名実ともに確立していくために、学長として今後もいっそうの努力を続ける決意です。

東京外国語大学長

池 端 雪 浦

（歴史学、東南アジア史）

沿革

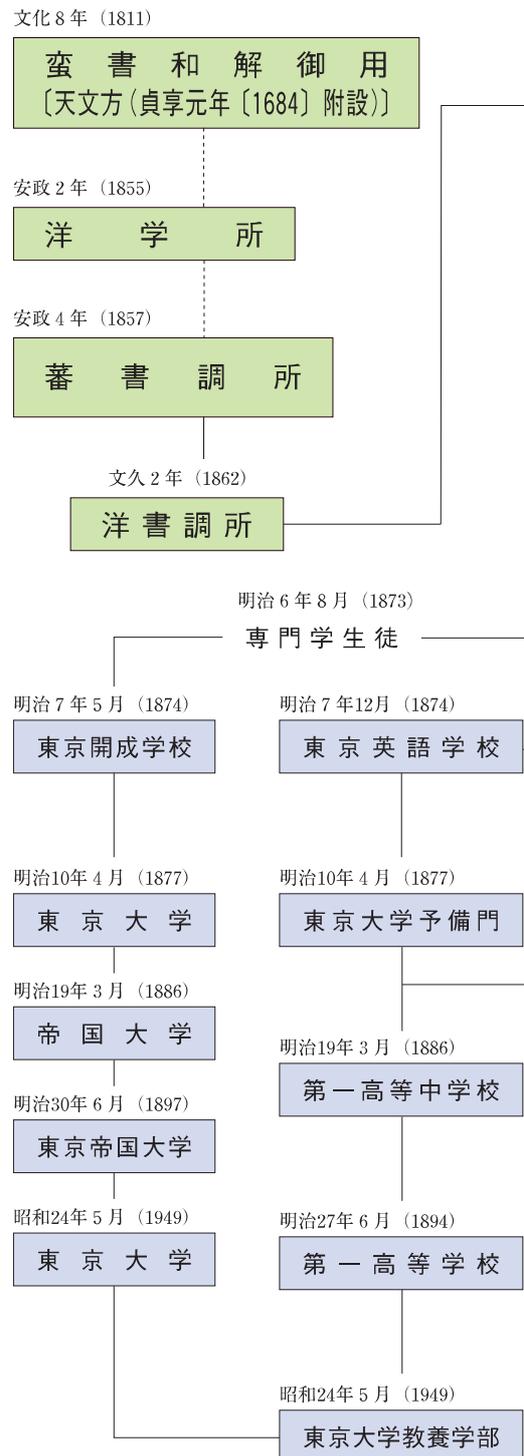
History

理 念

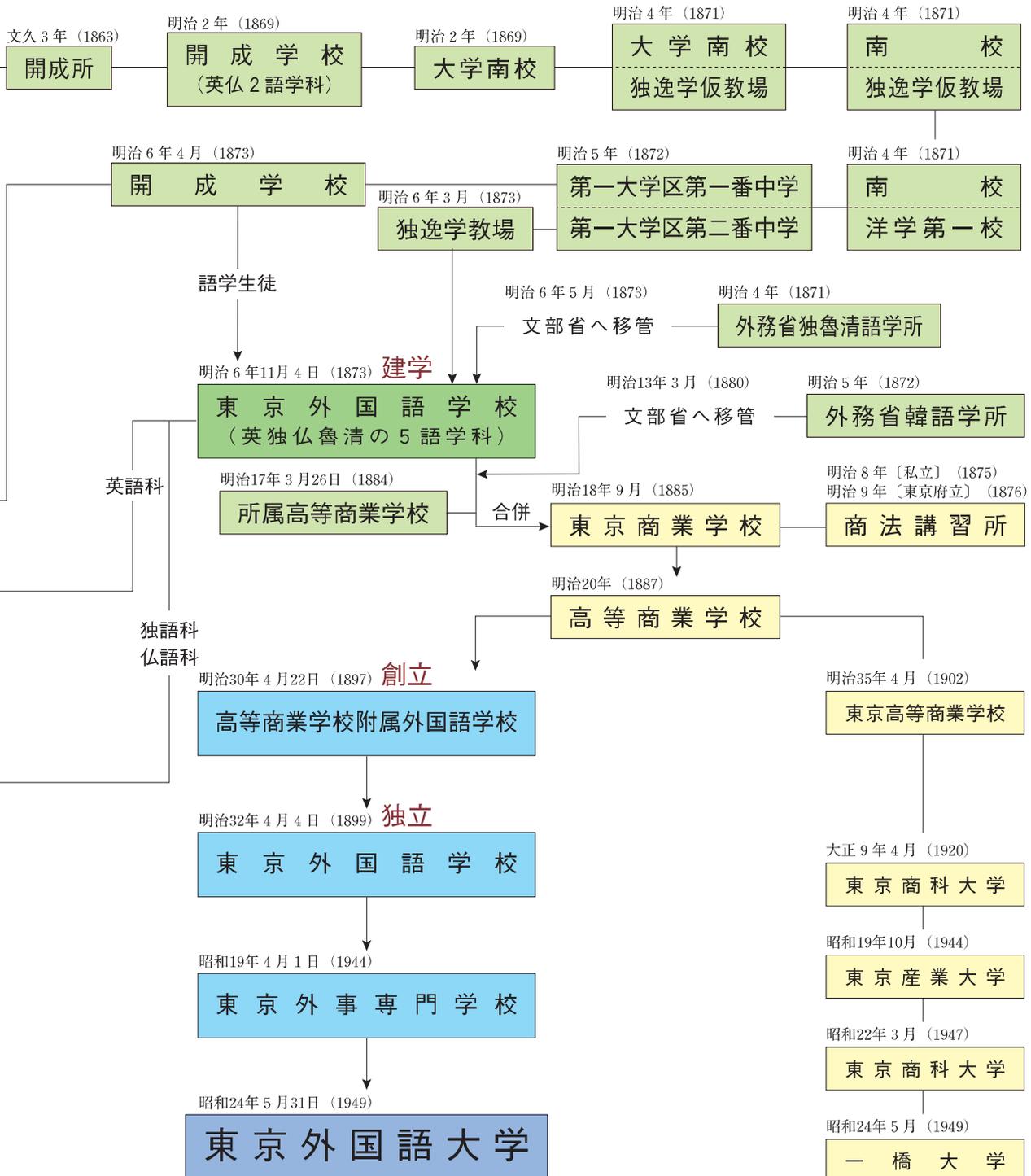
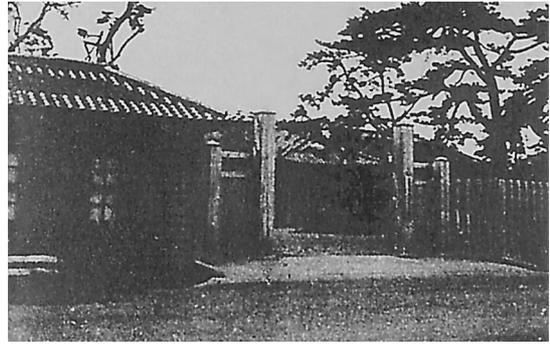
東京外国語大学は、世界の言語とそれを基底とする地域文化及び国際関係について、理論と実際にわたって研究・教授し、国際社会に関する豊かな知識と理解をもった創造性あふれる人材を育成するとともに、当該研究分野についての学際的で先端的な研究成果を広く国内外へと還元することを通じて、人類の平和と発展に寄与することを目的とする大学である。

長い歴史と伝統を誇る本学は、「外国の言語とそれを基底とする文化一般につき、理論と実際にわたり研究教授し、国際的な活動をするために必要な高い教養を与え、言語を通して外国に関する理解を深めることを目的とする」(学則第1条)「世界の言語・文化、地域社会及び国際関係につき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的とする」(大学院学則第2条)との理念のもとに、様々なレベルの国際接触の第一線を担い、外国研究の第一線に立つ多数の有能な卒業生を社会に送り出している。

現在、本学は、広域的な7課程において26の専攻語を教授している外国語学部、大学院地域文化研究科(博士前期・後期課程)、外国人留学生のための留学生日本語教育センター及び全国共同利用のアジア・アフリカ言語文化研究所及び保健管理センターの各部局から構成されており、外国の言語・文化・社会及び国際関係の教育・研究を専門とするForeign Studies(外国学)の総合大学として、日本の多くの大学のなかできわめてユニークな高い地位を占めている。



明治6年11月4日
 一ツ橋通町一番地に開設の東京外国語学校正門
 『東京外国語大学史』(1999年)より

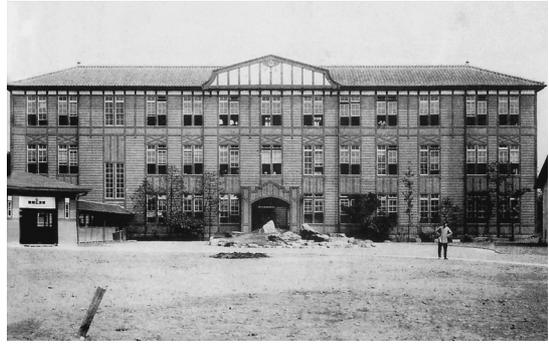


沿革略史



1903（明治36）年1月
神田区錦町3丁目13番地に
新築成った本校舎。

明治	6（1873）年11月4日	東京外国語学校（官立）第一大学区東京第四大区二小区一ツ橋通町一番地に開設。5学科（英・仏・独・露・清語）を設置
	7（1874）年12月24日	英語学科が東京英語学校設置に伴い同校に移行、よって4学科（仏・独・露・清語）となる
	13（1880）年3月	朝鮮語学科設置
	17（1884）年3月26日	東京外国語学校に所属高等商業学校を設置
	18（1885）年8月14日	仏・独語学科が東京大学予備門に移行、よって3学科（露・清・朝鮮語）となる
	9月22日	東京外国語学校及び同校所属高等商業学校と東京商業学校が東京商業学校として合併
	29（1896）年1月	第九帝国議会において衆議院及び貴族院の両院が外国語学校の開設を建議
	30（1897）年4月22日	高等商業学校に附属外国語学校附設
	32（1899）年4月4日	7学科（英・仏・独・露・西・清・韓語）を設置。修業年限3年 高等商業学校附属外国語学校が東京外国語学校（神田錦町3丁目14番地）と改称されるとともに、文部省直轄3官立専門学校の一つとして独立
	44（1911）年1月	伊語学科を設置し、8学科となる 新たに5学科（蒙古語、暹羅語、馬來語、ヒンドスタン語、タミル語）を設置し13学科となる 韓語学科を朝鮮語学科に改称
大正	2（1913）年2月20日	神田大火により校舎全焼
	2月24日	文部省修文館のほか東京高等商業学校分教場の一部を借用し、授業開始
	9月5日	本校敷地内に仮校舎を新築 清語学科を支那語学科に改称
	5（1916）年1月17日	葡語学科を設置し、14学科となる
	8（1919）年9月4日	各学科の名称を部に改正、各部を文科、貿易科、拓殖科に分ける
	10（1921）年4月10日	麹町区元衛町一番地の新校舎に移転
	12（1923）年9月1日	関東大震災により附属建物を除き全焼
	11月1日	牛込区市ヶ谷の陸軍士官学校の一部を借用し授業開始
	13（1924）年3月3日	麹町区竹平町一番地の元文部省跡の新築仮校舎に移転
昭和	2（1927）年3月28日	朝鮮語部廃止により13語部となる。修業年限4年に改正
	15（1940）年7月24日	滝野川区西ヶ原町の元海軍爆薬部跡に木造校舎を新築
	16（1941）年5月21日	暹羅語部を泰語部に改称、暹羅語を泰語に改称
	19（1944）年4月26日	東京外事専門学校と改称。修業年限3年に改正
	5月31日	第一部（支那、蒙古、タイ、マライ、インド、ビルマ、フィリピン、イスパニヤ、ポルトガルの9科）及び第二部（ドイツ、フランス、ロシア、イタリア、英米の5科）を設置
	20（1945）年4月13日	別科として専修科（修業年限2年）及び速成科（修業年限1年）を設置
	5月	麹町区竹平町一番地から書庫を除き滝野川区西ヶ原町の新築校舎に移転
	21（1946）年6月1日	戦災により校舎等全焼
	7月22日	戦災により校舎等全焼のため下谷区上野公園東京美術学校、図書館講習所、美術研究所内に移転。7月から授業開始
	8月1日	板橋区上石神井1丁目216番地の智山中学校校舎の一部借用
	8月16日	支那科を中国科に、タイ科をシャム科に改正し、支那語を中国語に、タイ語をシャム語に改称
	24（1949）年3月23日	板橋区上石神井1丁目79番地の東京工業専門学校の電波兵器技術専修学校跡を借用して移転し、9月から授業開始
	5月31日	マライ科をインドネシア科に、フィリピン科をフィリピン科に改称
	6月1日	北区西ヶ原町の校地に戦災復旧木造校舎を新築
	8月30日	国立学校設置法の施行により東京外国語大学設置（東京外事専門学校を包括して設置）。修業年限4年
	26（1951）年3月31日	12学科（英米、フランス、ドイツ、ロシア、イタリア、イスパニヤ、ポルトガル、中国、蒙古、インド、インドネシア、シャム）を設置
	29（1954）年7月5日	元ブラジル駐割特命全権大使澤田節蔵、初代学長に就任
	9月	東京外事専門学校を廃止
	30（1955）年12月16日	外国語学部海外事情研究所を開設
	31（1956）年3月31日	留学生別科を設置。修業年限1年
	4月1日	初めての選挙により教授岩崎民平が第二代学長に就任
	34（1959）年7月1日	専攻科の設置。修業年限1年
	35（1960）年3月	専攻課程「英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、イスパニヤ語、ポルトガル語、中国語、蒙古語、ウルドゥ語、ヒンディー語、インドネシア語、シャム語」の13専攻
	4月1日	外国語学部言語学研究所を開設
	36（1961）年4月1日	留学生別科を廃止
	12月16日	留学生課程を設置。修業年限3年
		学科を科に改称。イスパニヤ学科、ポルトガル学科、蒙古学科、インド学科、シャム学科をそれぞれスペイン科、ポルトガル・ブラジル科、モンゴル科、インド・パーキスタン科、タイ科に改称。アラビア科設置。
		教授小川芳男が第三代学長に就任



1921（大正10）年4月10日
麴町区元衛町1番地に完成
した新校舎

- 39（1964）年4月1日 科を語学科に改称
タイ科をインドシナ語学科に改称
アジア・アフリカ言語文化研究所を設置
- 41（1966）年4月1日 大学院外国語学研究科修士課程を設置
- 43（1968）年4月1日 特設日本語学科を設置
- 45（1970）年4月1日 北区西ヶ原に附属日本語学校を設置
- 46（1971）年3月 府中市住吉町5丁目10番地1号の新校舎に附属日本語学校移転
- 4月1日 教授鐘ヶ江信光が第四代学長に就任
田沢湖高原研修施設を開設
- 47（1972）年3月 留学生課程を廃止
- 50（1975）年4月1日 教授坂本是忠が第五代学長に就任
大学院外国語学研究科修士課程に日本語学専攻を設置
- 52（1977）年4月1日 朝鮮語学科を設置
大学院地域研究科修士課程を設置
- 55（1980）年4月1日 ペルシア語学科を設置
- 56（1981）年12月1日 教授鈴木幸壽が第六代学長に就任
- 59（1984）年4月1日 インドネシア語学科をインドネシア・マレーシア語学科に改称
- 60（1985）年4月1日 特設日本語学科を日本語学科に改組
国際交流会館開設
- 11月6日 評議会において府中市開東村跡地への移転について意志決定
- 12月1日 教授長幸男が第七代学長に就任
- 61（1986）年4月1日 附属日本語学校地に留学生教育教材開発センターを設置

-
- 平成 元（1989）年9月1日 教授原卓也が第八代学長に就任
 - 3（1991）年4月1日 ロシア語学科をロシア・東欧語学科に改組
 - 4（1992）年4月1日 大学院地域文化研究科博士課程（前期・後期）を設置、外国語学研究科修士課程及び地域研究科修士課程を地域文化研究科に統合
インドネシア・マレーシア語学科とインドシナ語学科を東南アジア語学科に改組
附属日本語学校と留学生教育教材開発センターを留学生日本語教育センターに改組
 - 4月10日 アラビア語学科とペルシア語学科を中東語学科に改組
 - 5（1993）年4月1日 国の機関等移転推進連絡会議において本学の移転場所として東京都府中市旧開東村住宅跡地を決定
 - 6月24日 外国語学部を7課程（欧米第一、欧米第二、ロシア・東欧、東アジア、東南アジア、南・西アジア、日本）3
 - 7（1995）年4月1日 大講座（言語・情報、総合文化、地域・国際）に改組
教授中嶋嶺雄が第九代学長に就任
 - 9月1日 大学院地域文化研究科に「国際文化講座」（博士講座）を設置
 - 8（1996）年4月1日 外国語学部総合文化研究所を開設
文部省の国立学校施設設計画調整会議において新キャンパス基本設計を了承
 - 8月21日 アジア・アフリカ言語文化研究所に情報資源利用研究センターを設置
 - 9（1997）年4月1日 創立百周年（建学百二十四年）記念式典挙行
4月22日 府中新キャンパス起工式挙行
9月26日 情報処理センターを設置。大学院（国際文化講座）に教員任期制導入
 - 10（1998）年10月1日 ISEP TUFS（東京外国語大学国際教育プログラム）開設
 - 11（1999）年4月1日 大学院地域文化研究科に「国際協力講座」（博士講座）を設置
11月4日 独立百周年（建学百二十六年）記念式典挙行、『東京外国語大学史』刊行。ドナルド・キーン氏（コロンビア大学名誉教授）に最初の名誉博士学位を授与
 - 12（2000）年4月1日 副学長（2人）、外国語学部長が設置される
大学院地域文化研究科に最初の連携講座（連携先・日本銀行金融研究所）を設置
8月11日 府中新キャンパスに移転
 - 9月27日 府中新キャンパス・オープニング・セレモニー挙行、10月2日より新キャンパスにて授業開始
 - 13（2001）年3月15日 東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学間において「四大学連合憲章」調印
 - 4月1日 大学院地域文化研究科に連携講座（連携先・国際協力事業団）を設置
 - 5月10日 東京外国語大学本郷サテライト開設
 - 9月1日 教授池端雪浦が第十代学長に就任
 - 14（2002）年2月1日 アジア・アフリカ言語文化研究所が府中キャンパスに移転
 - 4月1日 大学院地域文化研究科に「対照言文情報講座」（博士講座）を設置
外国語学部附属施設の海外事情研究所、語学研究所、総合文化研究所を廃止し、新たに学内附属施設として海外事情研究所、語学研究所、総合文化研究所を設置

変遷

Changes

外国語学部

昭24.5設置	昭26.4改称	専攻語学	昭36.4改称	昭和39.4改称
英米学科	第一部	(英語)	英米科	英米語学科
フランス学科	第二部第一類	(フランス語)	フランス科	フランス語学科
イタリア学科	第二部第二類	(イタリア語)	イタリア科	イタリア語学科
ドイツ学科	第三部	(ドイツ語)	ドイツ科	ドイツ語学科
ロシア学科	第四部	(ロシア語)	ロシア科	ロシア語学科
イスパニヤ学科	第五部第一類	(イスパニヤ語)	スペイン科	スペイン語学科
ポルトガル学科	第五部第二類	(ポルトガル語)	ポルトガル・ブラジル科	ポルトガル・ブラジル語学科
中国学科	第六部第一類	(中国語)	中国科	中国語学科
蒙古学科	第六部第二類	(蒙古語)	モンゴル科	モンゴル語学科
インド学科	第七部第一類	(インド語)	インド・パキスタン科	インド・パキスタン語学科
インドネシア学科	第七部第二類	(マレー語・オランダ語)	インドネシア科	インドネシア語学科
シャム学科	第七部第三類	(シャム語)	タイ科	インドシナ語学科
			アラビア科	アラビア語学科

留學生別科	昭29.9設置 昭35.3廃止	留學生課程	昭35.4設置 昭47.3廃止
専攻生	昭28.4設置 昭31.3廃止	外国語専攻科	昭31.4設置 昭41.3廃止

大学院地域文化研究科

外国語学研究科修士課程

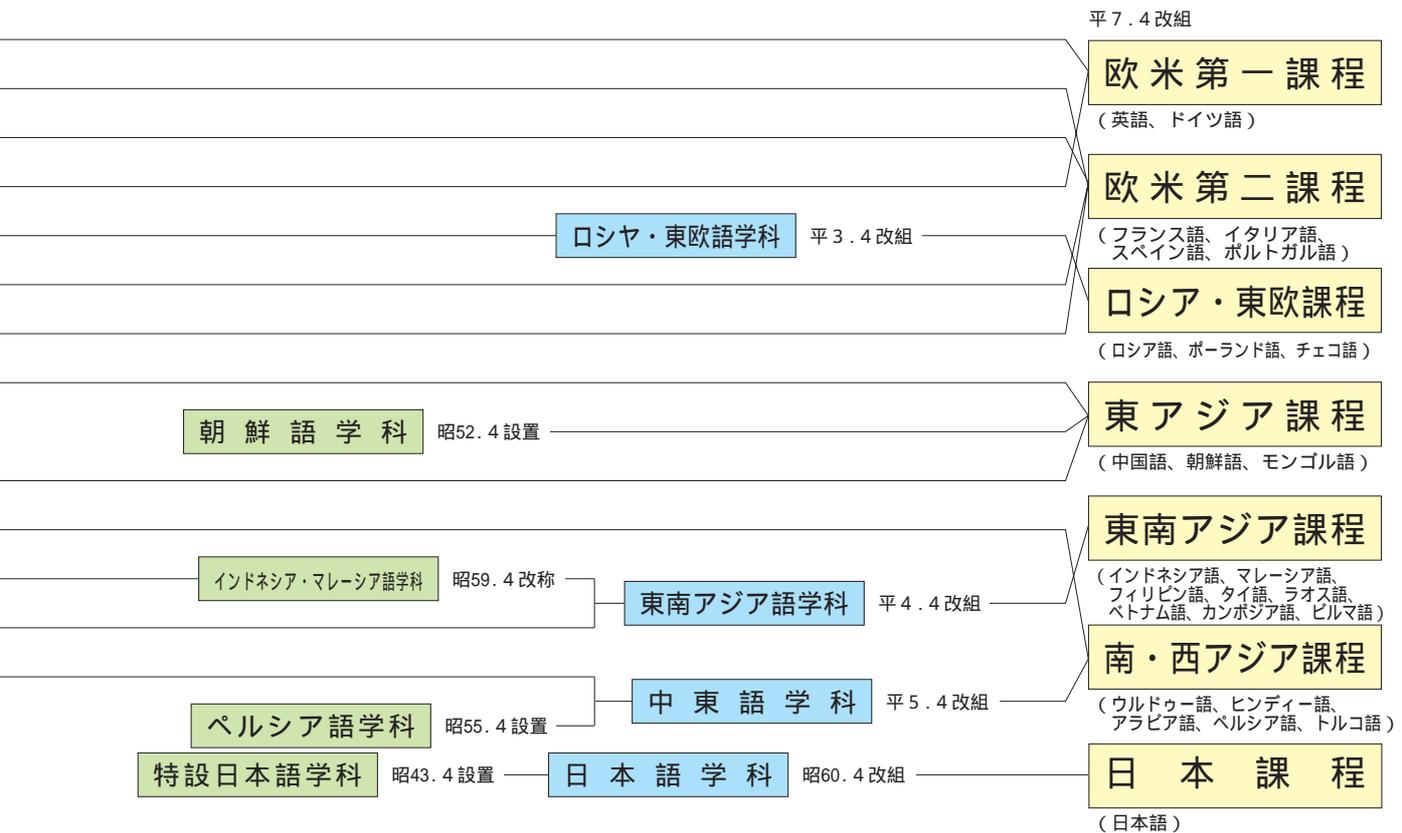
昭41.4設置

- ゲルマン系言語専攻 (英語学、ドイツ語学)
- ロマンス系言語専攻 (フランス語学、イタリア語学、スペイン語学、ポルトガル語学)
- スラブ系言語専攻 (ロシア語学)
- アジア第一言語専攻 (中国語学、モンゴル語学)
- アジア第二言語専攻 (インド語学)
- アジア第三言語専攻 (インドネシア語学、タイ語学)
- 日本語学専攻 (日本語学) 昭50.4設置

地域研究研究科修士課程

昭52.4設置

地域研究専攻



平4.4設置

地域文化研究科

博士前期課程 (修士課程)
博士後期課程 (博士課程)

博士前期課程 (言語文化コース、地域研究コース、国際協力専修コース、国際コミュニケーション専修コース、日本語教育専修コース)

ヨーロッパ第一専攻
ヨーロッパ第二専攻
ヨーロッパ第三専攻
アジア第一専攻
アジア第二専攻
アジア第三専攻
日本専攻

博士後期課程

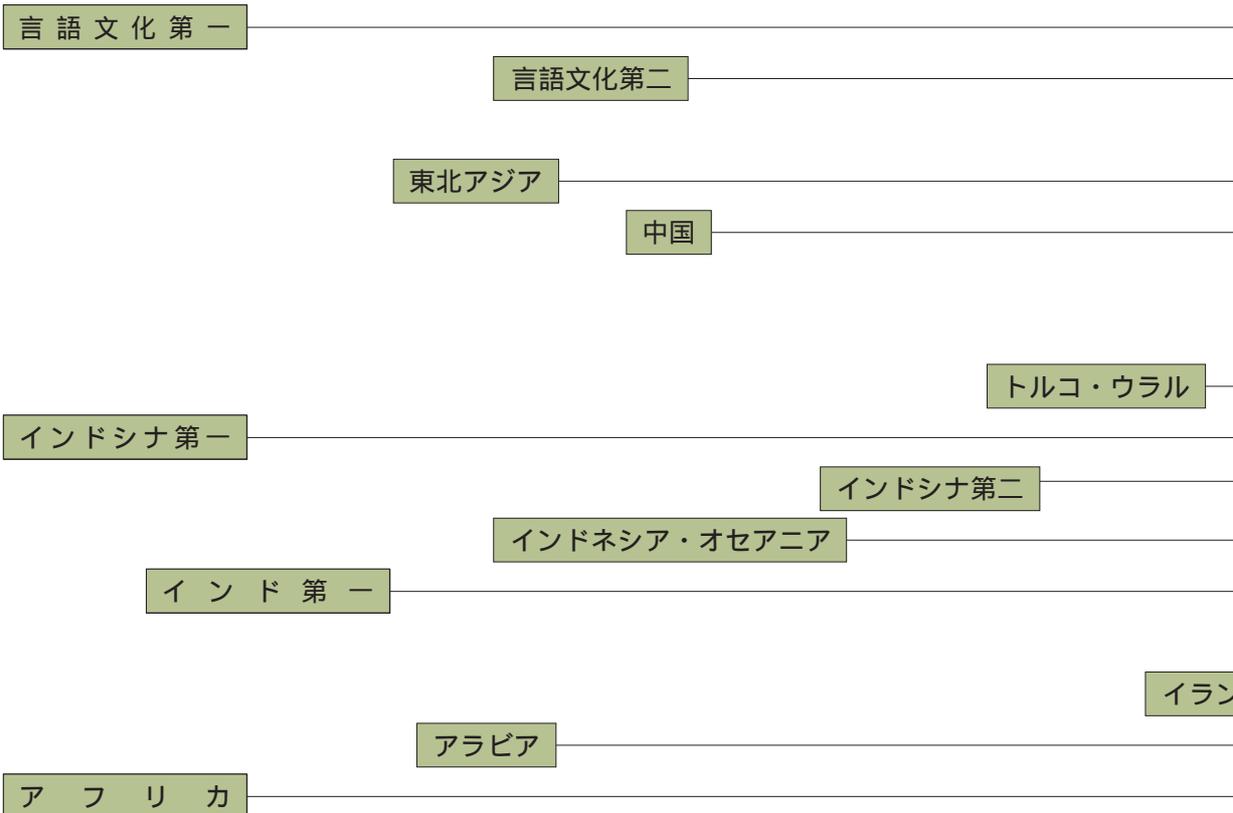
地域文化専攻

留学生日本語教育センター



アジア・アフリカ言語文化研究所

年	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭46	昭47
部門数	(3)	(4)	(6)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)

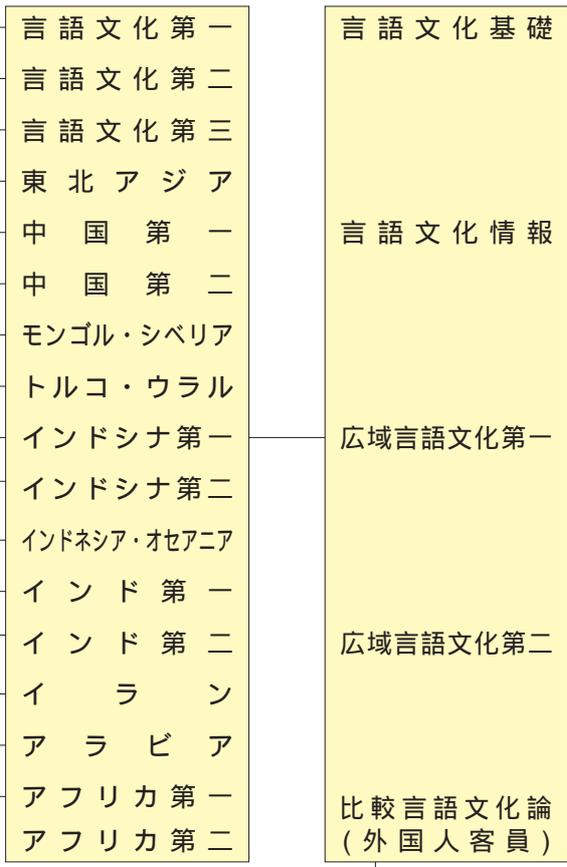


平4.4改組

留学生日本語教育センター

昭53	昭54	昭57	昭62	平3	平9
78	79	82	87	91	97
(13)	(15)	(16)	(17研究部門)	(4大部門制)	

平3.4改組

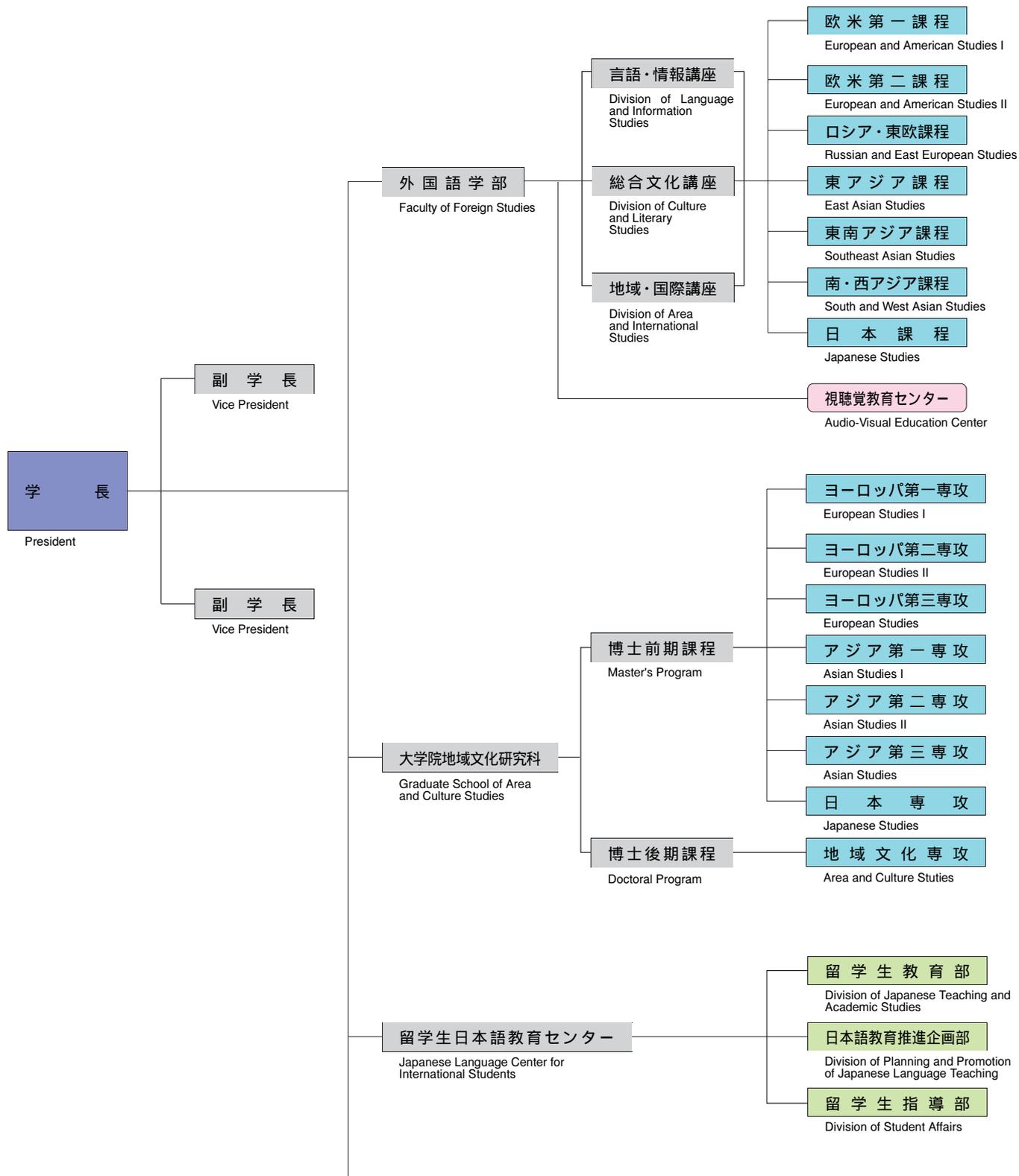


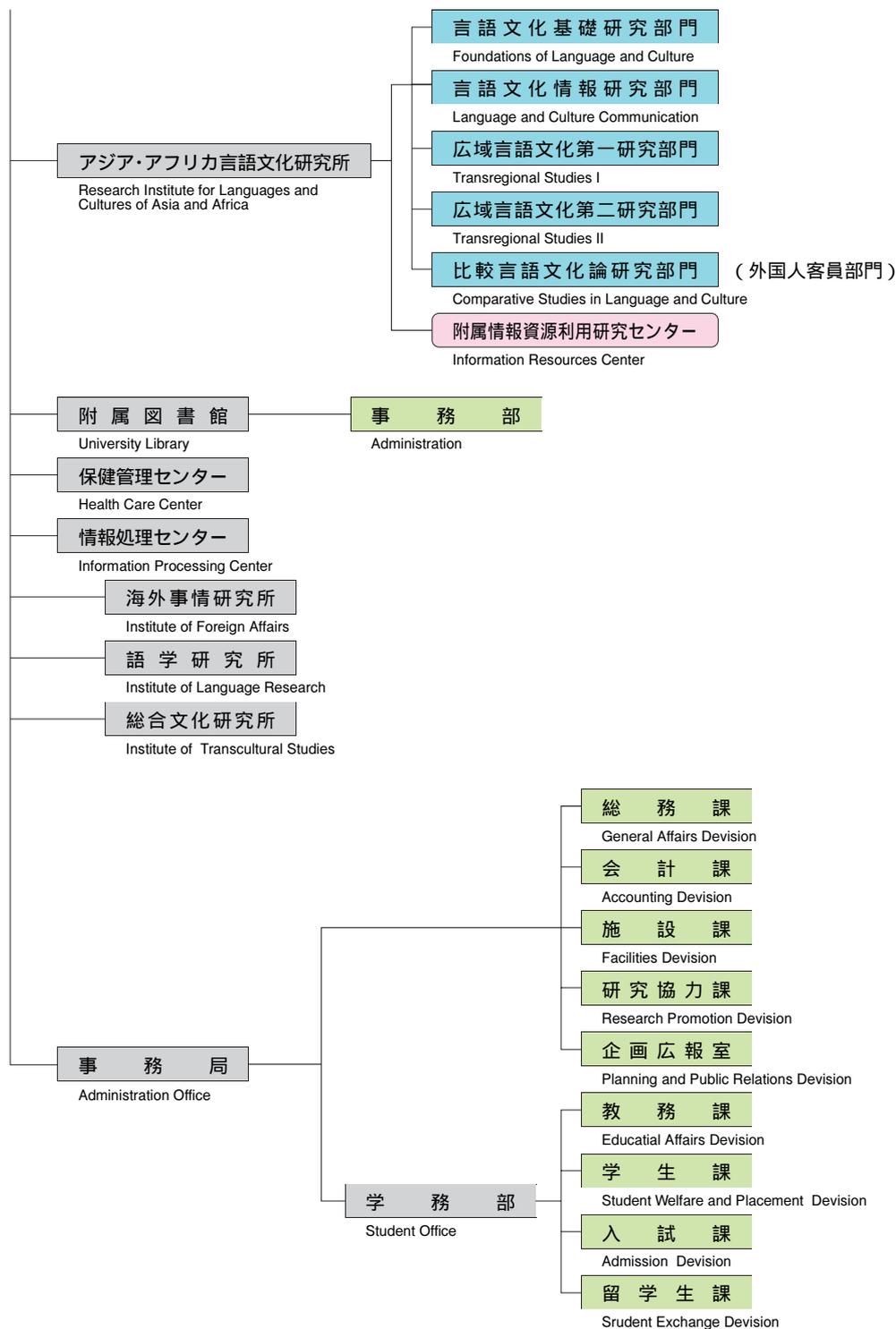
平9.4改組

情報資源利用研究センター

組織

Organization





役職員

Administrative Posts Staff

学 長

学 長 池端 雪浦

副 学 長

副 学 長 (併) 在間 進
" 高橋 正明

評 議 員

学 長 池端 雪浦
副 学 長 在間 進
副 学 長 高橋 正明
附属図書館長 富盛 伸夫
外国語学部長 馬場 彰
アジア・アフリカ言語文化
研究所長 宮崎 恒二
大学院地域文化研究科長 立石 博高
留学生日本語教育センター長 横田 淳子
保健管理センター所長 井上 哲文
アジア・アフリカ言語文化研究所
附属情報資源利用研究センター長 町田 和彦
外国語学部教授 高垣 敏博
" 小林 二男
" 八尾師 誠
" 敦賀陽一郎
アジア・アフリカ言語文化
研究所教授 内堀 基光
留学生日本語教育センター教授 田山のり子

外国語学部

外国語学部長 (併) 馬場 彰

講座長

言語・情報講座 高垣 敏博
総合文化講座 小林 二男
地域・国際講座 八尾師 誠

課程・系列代表

欧米第一課程 増谷 英樹
欧米第二課程 黒澤 直俊
ロシア・東欧課程 渡邊 雅司
東アジア課程 依藤 醇
東南アジア課程 石井 和子
南・西アジア課程 麻田 豊
日本課程 工藤 浩
人文系列 栗田 博之
社会系列 井尻 秀憲
人間・環境系列 市川 雅教

大学院地域文化研究科

地域文化研究科長 (併) 立石 博高

学内施設

視聴覚教育センター長 小川 英文
海外事情研究所長 藤田 進
語学研究所長 寺崎 英樹
総合文化研究所長 亀山 郁夫
情報処理センター長 芝野 耕司
国際交流会館長 在間 進

事務局

事務局長 中原 勇夫
総務課長 西岡 裕介
会計課長 石井 利通
施設課長 古谷 昌弘
研究協力課長 長岡 篤
企画広報室長 大月 晴夫

学務部

学務部長 玉木 信義
教務課長 浅野 俊一
学生課長 宮城 實
入試課長 早川 知宏
留学生課長 藤咲 仁一

附属図書館

附属図書館長 (併) 富盛 伸夫
事務長 本橋文次郎

保健管理センター

保健管理センター所長 (併) 井上 哲文

留学生日本語教育センター

留学生日本語教育センター長 (併) 横田 淳子

アジア・アフリカ言語文化研究所

アジア・アフリカ言語文化研究所長 (併) 宮崎 恒二

附属情報資源利用研究センター

情報資源利用研究センター長 (併) 町田 和彦

東京外国語大学運営諮問会議委員

(University Advisers) (五十音順)

阿部 謹也 (前一橋大学長)
井内慶次郎 (日本視聴覚教育協会会長)
石井 米雄 (神田外語大学長)
木村 孟 (大学評価・学位授与機構長)
小林 和男 (作新学院大学教授)
志村 尚子 (津田塾大学長)
高橋茅香子 (元朝日新聞社国際本部副本部長)
堤 清二 (セゾン文化財団理事長)
本間 長世 (成城学園長)
薬師寺泰蔵 (慶応義塾大学法学部教授)

職員

Staff

(平成14年5月1日現在)

区 分		学長	教授	助教授	講師	助手	その他職員	計
定 員		1	137	100		6	120	364
定員内訳	外 国 語 学 部		99	60				159
	大学院(地域文化研究科)		4	3		1		8
	アジア・アフリカ言語文化研究所		19	18		5		42
	留学生日本語教育センター		14	18				32
	保 健 管 理 セ ン タ ー		1	1				2
		外国人教師		外国人研究員		計		
外 国 語 学 部		25		—		25		
アジア・アフリカ言語文化研究所		—		6		6		



府中キャンパス

学部

Faculty of Foreign Studies

外国語学部 7 課程 3 講座 平成 7 年 4 月改組

課 程	専 攻 語	講 座
欧米第一課程	英語、ドイツ語	言語・情報 総合文化 地域・国際
欧米第二課程	フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語	
ロシア・東欧課程	ロシア語、ポーランド語、チェコ語	
東アジア課程	中国語、朝鮮語、モンゴル語	
東南アジア課程	インドネシア語、マレーシア語、フィリピン語、 タイ語、ラオス語、ベトナム語、カンボジア語、ビルマ語	
南・西アジア課程	ウルドゥー語、ヒンディー語、アラビア語、 ペルシア語、トルコ語	
日本課程	日本語	

大学院

Graduate School of Area and Culture Studies

大学院地域文化研究科

課 程	専 攻	講 座	基 礎 部 門
博士前期課程	ヨーロッパ第一専攻 ヨーロッパ第二専攻 ヨーロッパ第三専攻 アジア第一専攻 アジア第二専攻 アジア第三専攻 日本専攻	言語・情報 総合文化 地域・国際	アジア・アフリカ言語文化研究所 言語文化基礎研究部門 言語文化情報研究部門 広域言語文化第一研究部門 広域言語文化第二研究部門 附属情報資源利用研究センター 留学生日本語教育センター
博士後期課程	地域文化専攻	言語文化 地域研究 国際文化 国際協力 対照言文情報	

学生数

The Number of Students

平成14年度入学志願者数及び入学者数

The number of applicants and matriculating students in academic year 2002

外国語学部 Faculty of Foreign Studies								
課 程 Area of Studies	定員 Enrollment capacity	専 攻 語 Language of specialization	入学志願者数 The number of applicants			入学者数 The number of entrants		
			男 Men	女 Women	計 Total	男 Men	女 Women	計 Total
欧米第一課程 European and American Studies	130	英 English 語	208	312	520	27	44	71
		ド イ ツ 語 German	106	208	314	17	43	60
欧米第二課程 European and American Studies	190	フ ラ ン ス 語 French	98	221	319	16	44	60
		イ タ リ ア 語 Italian	53	144	197	9	22	31
		ス ペ イ ン 語 Spanish	112	252	364	16	56	72
		ポ ル ト ガ ル 語 Portuguese	79	118	197	6	24	30
ロシア・東欧課程 Russian and East European Studies	100	ロ シ ア 語 Russian	131	241	372	18	52	70
		ポ ー ラ ン ド 語 Polish	26	54	80	5	13	18
		チ ェ コ 語 Czech	34	68	102	5	11	16
東アジア課程 East Asian Studies	105	中 国 語 Chinese	109	219	328	20	44	64
		朝 鮮 語 Korean	40	86	126	9	21	30
		モ ン ゴ ル 語 Mongolian	41	75	116	5	10	15
東南アジア課程 Southeast Asian Studies	100	イ ン ド ネ シ ア 語 Indonesian	28	87	115	3	15	18
		マ レ ー シ ア 語 Malaysian	25	57	82	2	9	11
		フィリピン語 Philippine	31	58	89	8	9	17
		タ イ 語 Thai	27	78	105	4	14	18
		ラ オ ス 語 Laotian	36	71	107	4	7	11
		ベ ト ナ ム 語 Vietnamese	20	67	87	3	10	13
		カンボジア語 Cambodian	18	51	69	3	7	10
		ビルマ語 Burmese	38	75	113	3	9	12
南・西アジア課程 South and West Asian Studies	75	ウルドゥー語 Urdu	37	88	125	3	13	16
		ヒンディー語 Hindi	35	52	87	7	8	15
		アラビア語 Arabic	30	53	83	6	12	18
		ペルシア語 Persian	31	72	103	3	12	15
		トルコ語 Turkish	39	71	110	5	11	16
日本課程 Japanese Studies	45	日 本 語 Japanese	20	49	69	3	13	16
			67	216	283	10	20	30
合 計 Total	745		1,519	3,143	4,662	220	553	773

(注) 1 入学志願者数及び入学者数には、帰国子女特別選抜、私費外国人留学生特別選抜を含む。

2 日本課程の上段は日本人学生を下段は外国人留学生を示す。

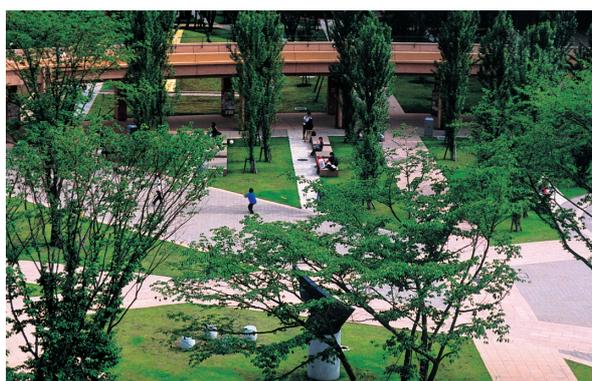
(notes) 1 The number of applicants and entrants includes the applicants screened from returnee Japanese students and exchange students studying without government scholarships.

2 In Japanese studies, the top line represents Japanese students, the second line exchange students.



大学院博士前期課程 Master's Program								
研究科 Division	専攻 Major Field	定員 Enrollment capacity	入学志願者数 The number of applicants			入学者数 The number of entrants		
			男 Men	女 Women	計 Total	男 Men	女 Women	計 Total
地域文化研究科 The Graduate School of Area and Culture Studies	ヨーロッパ第一専攻 European Studies	20	13	22	35	6	12	18
	ヨーロッパ第二専攻 European Studies	20	21	19	40	12	9	21
	ヨーロッパ第三専攻 European Studies	9	12	13	25	5	7	12
	アジア第一専攻 Asian Studies	24	31	43	74	11	21	32
	アジア第二専攻 Asian Studies	10	6	12	18	0	5	5
	アジア第三専攻 Asian Studies	10	7	5	12	4	2	6
	日本専攻 Japanese Studies	32	20	78	98	9	32	41
合計 Total		125	110	192	302	47	88	135

大学院博士後期課程 Doctoral Program								
研究科 Division	専攻 Major Field	定員 Enrollment capacity	入学志願者数 The number of applicants			入学者数 The number of entrants		
			男 Men	女 Women	計 Total	男 Men	女 Women	計 Total
地域文化研究科 The Graduate School of Area and Culture Studies	地域文化専攻 Area and Culture Studies	26	38	47	85	11	18	29



在学者数 (外国語学部総数)

Current Enrollment Figures (Total Faculty of Foreign Studies)

(平成14年5月1日現在) As of May 2002

	1年次	1st year	2年次	2nd year	3年次	3rd year	4年次	4th year	計		Total	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
	Enrollment capacity	Current Enrollment Figures	Enrollment capacity	Current Enrollment Figures	Enrollment capacity	Current Enrollment Figures	Enrollment capacity	Current Enrollment Figures	Enrollment capacity	Current Enrollment Figures	Enrollment capacity	Current Enrollment Figures
平成7年度以降入学者 The number of entrants after academic year 1995	745	(591) 858	745	(595) 858	775	(614) 857 [[(21)]] [35]	775	(741) 1,180 [[(28)]] [49]	3,040	(2,541) 3,753 [[(49)]] [84]		
平成6年度以前入学者 The number of entrants before academic year 1994	—	—	—	—	—	—	—	(1) 5	—	(1) 5		
合計 Total	745	(591) 858	745	(595) 858	775	(614) 857 [[(21)]] [35]	775	(742) 1,185 [[(28)]] [49]	3,040	(2,542) 3,758 [[(49)]] [84]		

(注)平成7年度より学科制から課程制に組織改革を行った。

(notes) Since academic year 1995, a major reform of the undergraduate curriculum has introduced area and three diciplined-based studies, apart from language study .

外国語学部 (平成7年度以降入学者)

Faculty of Foreign Studies (The number of entrants after academic year 1995)

(平成14年5月1日現在) As of May 2002

課 程		1年次	1st year	2年次	2nd year	3年次	3rd year	4年次	4th year	計		Total	
		定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
		Enrollment capacity	Current Enrollment Figures	Enrollment capacity	Current Enrollment Figures	Enrollment capacity	Current Enrollment Figures	Enrollment capacity	Current Enrollment Figures	Enrollment capacity	Current Enrollment Figures	Enrollment capacity	Current Enrollment Figures
欧米第一課程 European and American Studies	英 語 English	130	(49) 85	130	(47) 78	150 [20]	(54) 92 [[(10)]] [16]	150 [20]	(72) 118 [[(14)]] [22]	560 [40]	(222) 373 [[(24)]] [38]		
	ド イ ツ 語 German		(45) 67		(38) 63		(55) 77 [[(4)]] [6]		(61) 101 [[(2)]] [8]		(199) 308 [[(6)]] [14]		
欧米第二課程 European and American Studies	フ ラ ン ス 語 French	190	(52) 68	190	(54) 77	190	(48) 63	190	(56) 77	760	(210) 285		
	イ タ リ ア 語 Italian		(24) 35		(23) 36		(26) 36		(30) 43		(103) 150		
	ス ペ イ ン 語 Spanish		(61) 83		(56) 78		(52) 79		(72) 101		(241) 341		
	ポ ル ト ガ ル 語 Portuguese		(27) 34		(26) 36		(25) 34		(32) 54		(110) 158		
ロシア・東欧課程 Russian and East European Studies	ロ シ ア 語 Russian	100	(53) 75	100	(51) 79	100	(47) 71	100	(51) 103	400	(202) 328		
	ポ ー ラ ン ド 語 Polish		(16) 25		(10) 17		(9) 14		(17) 24		(52) 80		
	チ ェ コ 語 Czech		(11) 17		(12) 19		(10) 18		(17) 27		(50) 81		
東アジア課程 East Asian Studies	中 国 語 Chinese	105	(46) 70	105	(46) 65	115 [10]	(56) 75 [[(5)]] [8]	115 [10]	(64) 107 [[(7)]] [13]	440 [20]	(212) 317 [[(12)]] [21]		
	朝 鮮 語 Korean		(21) 31		(22) 33		(27) 36 [[(2)]] [2]		(25) 54 [[(2)]] [2]		(95) 154 [[(4)]] [4]		
	モ ン ゴ ル 語 Mongolian		(10) 17		(10) 15		(17) 22 [[(0)]] [3]		(18) 29 [[(3)]] [4]		(55) 83 [[(3)]] [7]		
東南アジア課程 Southeast Asian Studies	イ ン ド ネ シ ア 語 Indonesian	100	(16) 19	100	(19) 21	100	(17) 18	100	(23) 32	400	(75) 90		
	マ レ ー シ ア 語 Malaysian		(10) 12		(10) 12		(7) 8		(15) 22		(42) 54		
	フ ィ リ ピ ン 語 Philippine		(9) 17		(17) 23		(12) 13		(15) 22		(53) 75		
	タ イ 語 Thai		(14) 18		(14) 17		(15) 18		(19) 27		(62) 80		
	ラ オ ス 語 Laotian		(7) 12		(10) 14		(8) 9		(8) 16		(33) 51		

課 程		1 年次	1st year	2 年次	2nd year	3 年次	3rd year	4 年次	4th year	計 Total	
		定員 Enrollment capacity	現員 Current Enrollment Figures								
東南アジア課程 Southeast Asian Studies	ベトナム語 Vietnamese		(10) 14		(7) 12		(13) 14		(15) 22		(45) 62
	カンボジア語 Cambodian		(7) 13		(11) 12		(6) 8		(10) 14		(34) 47
	ビルマ語 Burmese		(9) 12		(8) 10		(10) 12		(6) 14		(33) 48
南・西アジア課程 South and West Asian Studies	ウルドゥー語 Urdu		(13) 17		(14) 17		(10) 16		(12) 24		(49) 74
	ヒンディー語 Hindi		(10) 17		(18) 23		(10) 16		(16) 24		(54) 80
	アラビア語 Arabic	75	(13) 21	75	(12) 19	75	(16) 21	75	(14) 25	300	(55) 86
	ペルシア語 Persian		(12) 15		(14) 18		(14) 16		(19) 24		(59) 73
	トルコ語 Turkish		(11) 16		(10) 19		(12) 19		(12) 18		(45) 72
日本課程 Japanese Studies	日本語 Japanese	45	(13) 16	45	(12) 16	45	(17) 21	45	(13) 15	180	(55) 68
			(22) 32		(24) 29		(21) 31		(29) 43		(96) 135
合 計 Total		745	(591) 858	745	(595) 858	775 [30]	(614) 857 [(21)] [35]	775 [30]	(741) 1,180 [(28)] [49]	3,040 [60]	(2,541) 3,753 [(49)] [84]

- (注) 1 ()内は女子を内数で示す。
2 []は欧米第一課程及び東アジア課程編入学生を内数で示す。
3 日本課程の在学者数下段は、外国人留学生である。
- (notes) 1 .The number of women students is indicated in the round brackets.
2 .The number of transferees from other universities into European /American Studies I and East Asian Studies is indicated in the square brackets.
3 .In Japanese Studies, exchange students are presented in the bottom line.

外国語学部 (平成6年度以前入学者)

Faculty of Foreign Studies (The number of entrants before academic year 1994)

(平成14年5月1日現在) As of May 2002

学 科 Department		4 年次 4th year		計 Total	
		定員 Enrollment capacity	現員 Current Enrollment Figures	定員 Enrollment capacity	現員 Current Enrollment Figures
英 米 語 学 科 Department of Anglo-American Studies		—	(0) 1	—	(0) 1
ロシア・東欧語学科 Department of Russian and East European Studies	ロ シ ヤ 語 Russian	—	(0) 1	—	(0) 1
インド・パキスタン 語 学 科 Department of Indo- Pakistani Studies	ヒ ン デ ィ ー 語 Hindi	—	(1) 2	—	(1) 2
日 本 語 学 科 Department of Japanese Studies	日本語・日本文化専攻第一 Japanese	—	(0) 1	—	(0) 1
合 計 Total		—	(1) 5	—	(1) 5

- (注) 1 ()内は女子を内数で示す。
2 在籍者のいない学科については削除した。
- (notes) 1 .The number of women students is indicated in the round brackets.
2 .Former courses of study with no current enrollment are not indicated.



大学院（博士前期課程）

Master's Program

（平成14年5月1日現在）As of May 2002

研究科 Division	専攻 Major Field	第1年次 1st year		第2年次 2nd year		計 Total	
		定員 Enrollment capacity	現員 Current Enrollment Figures	定員 Enrollment capacity	現員 Current Enrollment Figures	定員 Enrollment capacity	現員 Current Enrollment Figures
地域文化研究科 The Graduate School of Area and Culture Studies	ヨーロッパ第一専攻 European Studies	20	(12) 18	20	(27) 46	40	(39) 64
	ヨーロッパ第二専攻 European Studies	20	(9) 21	20	(18) 30	40	(27) 51
	ヨーロッパ第三専攻 European Studies	9	(7) 12	9	(13) 29	18	(20) 41
	アジア第一専攻 Asian Studies	24	(21) 32	20	(24) 58	44	(45) 90
	アジア第二専攻 Asian Studies	10	(5) 5	10	(8) 15	20	(13) 20
	アジア第三専攻 Asian Studies	10	(2) 6	10	(4) 12	20	(6) 18
	日本専攻 Japanese Studies	32	(32) 41	32	(62) 78	64	(94) 119
合計 Total		125	(88) 135	121	(156) 268	246	(244) 403

大学院（博士後期課程）

Doctoral Program

（平成14年5月1日現在）As of May 2002

研究科 Division	専攻 Major Field	第1年次 1st year		第2年次 2nd year		第3年次 3rd year		計 total	
		定員 Enrollment capacity	現員 Current Enrollment Figures						
地域文化研究科 The Graduate School of Area and Culture Studies	地域文化専攻 Area and Culture Studies	26	(18) 29	24	(16) 32	23	(48) 86	73	(82) 147

（注）1（ ）内は女子を内数で示す。
 (notes) 1 .The number of women students is indicated in the round bracket.

外国人留学生

International Students

(平成14年5月1日現在)

地域区分	経費区分		国 費						私 費						合計					
	所属・身分 国・地域	外国語学部		大学院			教 研 生	日 研 生	国 費 学 生 小 計	外国語学部			大学院			短 期	特 別 聴 講 研 究	私 費 学 生 小 計		
		正規生	研究生	前期	後期	研究生				正規生	派遣	研究生	前期	後期					研究生	
アジア州	カンボジア															(1)		(1)	(1)	
	中 国	(1)			2	(2)	(1)		(1)	(5)	(48)		(62)	(36)	(6)	(1)		(153)	(158)	
	中国(香港)										1			(1)		1	(1)	(2)	(2)	
	イ ン ド					1				1							(1)	(1)	(1)	
	インドネシア						(1)		(1)							(1)		(1)	(2)	
	イ ラ ン		2						2											2
	韓 国			(4)	(6)			(4)	(14)	(36)		(3)	(39)	(14)	(8)	1	(1)	(101)	(115)	
	ラ オ ス															1		1	1	
	マレーシア										(1)	(1)	(1)	(2)				(5)	(5)	
	モンゴル	(1)	(2)	(1)		(1)			(5)	(1)		(5)	(2)		1	(1)		(9)	(14)	
	ミャンマー					(2)			(2)	(1)				1				(1)	(3)	
	フィリピン															1		1	1	
	サウジアラビア		1						1											1
	シンガポール	(1)	1	(1)					(2)							(1)		(1)	(3)	
	シ リ ア															(1)		(1)	(1)	
	タ イ		(2)	(2)					(4)	1	(1)		(1)		(1)			(3)	(7)	
	トルコ		1						1							(1)		(1)	(1)	
	ベトナム		(1)		1			(2)	(3)	(1)	(1)		(1)		(1)		(1)	(4)	(7)	
台 湾		2						(5)	(6)	(9)	(13)	(6)		(2)	(2)	(37)	(37)			
大洋州	オーストラリア			1			(1)	(1)							(1)		(1)	(2)		
アフリカ州	エジプト														(1)		(1)	(1)		
	ナイジェリア			1				1										1		
ヨーロッパ州	チェコ														(1)		(1)	(1)		
	フランス		1			(1)		(1)							1		1	(1)		
	ハンガリー		1					1										1		
	イタリア											(1)		(2)	(1)	(4)	(4)			
	ポーランド			(1)				(1)										(1)		
	スロベニア		(1)					1	(1)									(1)		
	スペイン														1		1	1		
英 国							(1)	(1)						1	(2)	(2)	(3)			
N I S 諸 国	ロ シ ア		2					2							(1)		(1)	(1)		
	ウズベキスタン													(2)	(1)	(3)	(3)			
アメリカ州	カナダ			(1)			(1)	(2)						(3)	(2)	(5)	(7)			
	アメリカ合衆国							1	1					(1)		(1)	(1)			
	アルゼンチン											(1)				(1)	(1)			
	ブラジル														(1)		(1)	(1)		
計	(3)	(6)	(10)	(8)	(5)	(1)	(10)	(43)	(92)	(1)	(82)	(91)	(33)	(9)	(22)	(12)	(342)	(385)		

(注) () 内は内数で女子を示す。
 前期.....博士前期課程、後期.....博士後期課程、教研生.....教員研修留学生、日研生.....日本語・日本文化研修留学生
 短期.....短期留学推進制度留学生、特別聴講研究.....特別聴講学生・特別研究学生
 派遣.....外国語学部所属留学生のうち外国政府派遣留学生を外数で示す。
 地域区分及び国・地域の順番は、原則として「世界の国一覧表(財団法人世界の動き社)」による。

大学間等の連携

Inter-University Cooperation

四大学連合憲章

21世紀を迎えた今、グローバル化された社会において、真に国際化社会に耐えうる研究教育体制を確立することを基本理念とし、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学及び一橋大学間において四大学連合を結成した。

四大学連合は、連合を構成する各大学が、それぞれ独立を保ちつつ、研究教育の内容に応じて連携を図ることで、これまでの高等教育で達成できなかった新しい人材の育成と、学際領域、複合領域の研究教育の更なる推進を図ることを目的とする。

各大学が相互に提携を図るにあたっては、各大学が、それぞれ異なる分野の学部、研究科及び研究所等を有していることを踏まえ、

履修や進学に関して、学生の選択の幅を拡大し、より良い教育体制を確立すること。

共同研究プロジェクトや学際的な研究領域での協力をを行うことにより、国際的な研究水準の維持・達成を目指すこと。

海外との大学との提携により、研究教育の更なる発展・向上を目指すこと。

という3点を具体的な目標として、学生、教官及び研究者の交流を図り、各大学の研究教育の水準を一層向上させることを目的としている。

この「四大学連合憲章」に基づき、東京外国語大学と東京工業大学は、学部間における複合領域コース及び大学院間における学生交流に関する協定を締結した。

多摩地区5大学単位互換制度

本制度は、多摩地区国立5大学（東京外国語大学、東京学芸大学、東京農工大学、電気通信大学、一橋大学）間の相互の交流と教育課程の充実を図ることを目的とする。

本制度により、受入大学で授業科目を履修し、授与された単位は、本学において修得単位として認定する。

東京外国語大学と中央大学との教育・研究交流

東京外国語大学と中央大学は、21世紀において両大学のさらなる発展を目指し、教育と研究の両面にわたって広く連携を図り、双方の学術研究の成果を共有し、社会にその成果を還元するため、教育・研究交流に関する協定を締結した。

東京外国語大学と東京都立大学との教育・研究交流

東京外国語大学と東京都立大学は、21世紀における両大学のさらなる発展を目指し、教育と研究の両面にわたって広く連携を図り、双方の学術研究の成果を共有し、社会にその成果を還元するため、教育・研究交流に関する協定を締結した。

博士前期課程社会学分野の単位互換制度

今日の学問の高度化と専門分化の進展の中で、大学院にふさわしい高度な研究教育を実現するためには、各大学における改善努力とともに、多数の大学間の提携が、大きな効果をあげることが期待される。社会科学諸分野の中でも、一つの大学において開講される授業科目数が比較的少ない社会学分野においては、とくに複数の大学間の単位互換制度の導入によって、大学院学生により豊富な学習機会を提供することは、有益かつ必要な改革と考えられる。

本協定に参加する各大学（23大学）の大学院研究科あるいは専攻課程は、平等互恵の精神に基づき、相互の交流と発展を目指して、社会学分野ならびにその関連分野の授業科目に関して、特別聴講学生の単位互換制度を設けることについて合意した。

連 携 講 座

大学院地域文化研究科は教育・研究の一層の充実と大学院生の資質の向上を図るとともに相互の研究交流を促進することにより学術の進展に寄与することを目的に平成12年度より日本銀行金融研究所、平成13年度からは国際協力事業団と協定を締結した。

大学と社会の連携協力

Cooperation between University and Society

外国語学部 平成14年度公開講座

開設講座	定員	回数	受講料	期間・時間・講座室	受講対象者	申込期間	受付期間	
語	ドイツ語入門	20	10	7,800円	5 / 10 ~ 7 / 12 18 : 30 ~ 20 : 30 本学研究講義棟 1 階 104教室	市民一般	4 / 10 ~ 4 / 23	4 / 30 ~ 5 / 9
	カンボジア ことば と文化への招待	30	10	6,800円	5 / 15 ~ 7 / 17 19 : 00 ~ 20 : 30 本学研究講義棟 1 階 102・103教室	市民一般・学生	4 / 10 ~ 4 / 23	5 / 7 ~ 5 / 14
	ポーランド語 + á入門	25	20	9,800円	6 / 3 ~ 12 / 16 18 : 30 ~ 20 : 00 東京外国語大学本郷サテラ イト(文京区本郷2丁目)	市民一般	5 / 1 ~ 5 / 15	5 / 20 ~ 5 / 31
	ドイツ語初級	20	10	7,800円	10 / 2 ~ 12 / 11 18 : 30 ~ 20 : 30 本学研究講義棟 1 階 104教室	市民一般	9 / 2 ~ 9 / 17	9 / 24 ~ 10 / 1
	ポルトガル語入門	20	10	7,800円	10 / 3 ~ 12 / 12 18 : 30 ~ 20 : 30 本学研究講義棟 1 階 104教室	市民一般・学生	9 / 2 ~ 9 / 17	9 / 24 ~ 10 / 2
	学	アラビア語入門	30	10	6,800円	期日未定 18 : 30 ~ 20 : 00 本学研究講義棟 1 階 105教室	市民一般・学生	未定
日本語から見た世界 の言語 - 対照研究へ の招待 - (3)		25	5	5,800円	10 / 11 ~ 11 / 8 18 : 30 ~ 20 : 30 本学研究講義棟 1 階 102教室	市民一般	9 / 17 ~ 9 / 25	10 / 1 ~ 10 / 10
スポ ーツ	楽しい春スキー	15	4日	7,800円	H15 3 / 1 ~ 3 / 4 9 : 00 ~ 20 : 00 秋田県田沢湖スキー場及び 本学田沢湖高原研修施設	市民一般	H15 2 / 1 ~ 2 / 14	H15 2 / 18 ~ 2 / 26

【申込・問合わせ先】

東京外国語大学企画広報室 運営企画係公開講座担当

〒183 - 8534 東京都府中市朝日町3 - 11 - 1 TEL 042 - 330 - 5152 FAX 042 - 330 - 5140

申込期間と受付期間については土・日・祝日を除く

アジア・アフリカ言語文化研究所 平成14年度言語研修

アジア・アフリカ言語文化研究所（全国共同利用研究所）では、アジア・アフリカ地域の言語文化に関する調査研究やその他の専門的業務を支援するため、また、日頃の研究成果を社会に還元するために、主に初心者を対象に、基礎学習を中心とした短期集中型の言語研修を実施しています。この研修は、専門研究者と母語話者とが全時間一緒に会話や読み書きなどを中心に教えるもの、母語話者から直接聞き出し記録・修得を目指すもの、あるいは、文語文の講読を中心に教えるものなど、そのスタイルは多彩ですが、卓越した研究拠点（Centre of Excellence）としての本研究所の日頃の研究活動を生かした特長ある言語教育となっています。

研修言語	バリ語	ネワール語	タイ語
研修会場	東京：アジア・アフリカ言語文化研究所		大阪：大阪社会福祉指導センター
研修期間	自 平成14年 7月22日(月) 至 平成14年 8月30日(金) 午前 9時30分～午後 4時30分 (土曜日、日曜日休講)	自 平成14年 7月22日(月) 至 平成14年 8月30日(金) 午前10時～午後 4時 (土曜日、日曜日休講)	自 平成14年 8月 1日(木) 至 平成14年 9月11日(水) 午前10時～午後 4時20分 (土曜日、日曜日休講)
研修時間	150時間		
受講資格	大学在学学生及び卒業生、またはこれに準ずる者		
受講定員	各言語10名程度		
募集期間	平成14年 6月 3日(月)～同年 6月17日(月)		
受講料等	検定料9,800円、入所料14,100円、受講料55,200円		

申込・問合わせ先

東京外国語大学研究協力課 研究協力第二係

〒183 - 8534 東京都府中市朝日町 3 - 11 - 1 TEL 042 - 330 - 5595 (直通)

卒業・修了

Graduates and Degrees Granted

平成13年度

卒業 者 数

外国語学部（平成6年度以前入学者）						
学 科	平成13年度			累 計		
	語学文学 専修課程	国際関係 専修課程	計	語学文学 専修課程	国際関係 専修課程	計
英 米 語 学 科	—	—	—	(243) 614	(784) 2,264	(1,027) 2,878
フ ラ ン ス 語 学 科	—	—	—	(299) 668	(668) 1,484	(967) 2,152
イ タ リ ア 語 学 科	—	—	—	(77) 160	(440) 853	(517) 1,013
ド イ ツ 語 学 科	—	—	—	(198) 509	(602) 1,603	(800) 2,112
ロ シ ヤ 語 学 科	—	—	—	(275) 625	(446) 1,266	(721) 1,891
ロ シ ヤ・東 欧 語 学 科	—	—	—	(80) 123	(186) 265	(266) 388
ス ペ イ ン 語 学 科	—	—	—	(146) 277	(969) 2,288	(1,115) 2,565
ポルトガル・ブラジル語学科	—	—	—	(40) 92	(340) 976	(380) 1,068
中 国 語 学 科	—	—	—	(203) 418	(547) 1,765	(750) 2,183
朝 鮮 語 学 科	—	—	—	(23) 60	(134) 279	(157) 339
モ ン ゴ ル 語 学 科	—	—	—	(47) 116	(157) 455	(204) 571
インド・パーキスターン語学科	—	—	—	(98) 217	(315) 913	(413) 1,130
インドネシア語学科	—	—	—	(28) 64	(110) 497	(138) 561
インドネシア・マレーシア語学科	—	—	—	(24) 34	(141) 213	(165) 247
インドシナ語学科	—	—	—	(75) 141	(261) 751	(336) 892
東南アジア語学科	—	—	—	(81) 125	(147) 208	(228) 333
アラビア語学科	—	—	—	(36) 84	(162) 349	(198) 433
ペルシア語学科	—	—	—	(27) 42	(133) 182	(160) 224
中 東 語 学 科	—	(0) 1	(0) 1	(8) 23	(60) 79	(68) 102
日 本 語 学 科	日 本 語・日 本 文 化 専 攻 第 一	—	—	(52) 69	(59) 77	(111) 146
	日 本 語・日 本 文 化 専 攻 第 二	—	(1) 1	(71) 109	(88) 149	(159) 258
小 計	—	(1) 2	(1) 2	(2,131) 4,570	(6,749) 16,916	(8,880) 21,486
特 設 日 本 語 学 科						(164) 295
合 計			(1) 2			(9,044) 21,781

- (注) 1. 平成13年9月卒業者を含む。
 2. ()内は、女子を内数で示す。
 3. 累計は、東京外国語大学の卒業者数を示す。

外国語学部（平成7年度以降入学者）									
課 程		平成13年度				累 計			
		言語情報 コース	総合文化 コース	地域・国際 コース	計	言語情報 コース	総合文化 コース	地域・国際 コース	計
欧米第一課程	英 語	(18) 29	(9) 16	(24) 37	(51) 82	(57) 88	(40) 65	(92) 134	(189) 287
	ド イ ツ 語	(6) 13	(11) 12	(23) 34	(40) 59	(16) 31	(43) 58	(89) 121	(148) 210
欧米第二課程	フ ラ ン ス 語	(6) 8	(16) 20	(25) 38	(47) 66	(19) 21	(52) 71	(68) 102	(139) 194
	イ タ リ ア 語	(1) 3	(8) 14	(4) 4	(13) 21	(8) 11	(33) 41	(28) 37	(69) 89
	ス ペ イ ン 語	(5) 9	(16) 16	(27) 38	(48) 63	(23) 30	(43) 52	(97) 131	(163) 213
	ポ ル ト ガ ル 語	(3) 3	(6) 8	(11) 14	(20) 25	(7) 13	(22) 30	(33) 50	(62) 93
東欧課程・ ロシア課程	ロ シ ア	(8) 13	(23) 33	(19) 29	(50) 75	(17) 33	(68) 101	(67) 103	(152) 237
	ポ ー ラ ン ド 語	(1) 2	(1) 1	(3) 3	(5) 6	(6) 7	(8) 9	(16) 18	(30) 34
	チ ェ コ 語	(0) 2	(2) 2	(3) 4	(5) 8	(6) 12	(8) 10	(13) 16	(27) 38
東アジア課程	中 国 語	(5) 8	(10) 19	(21) 36	(36) 63	(25) 37	(31) 43	(83) 131	(139) 211
	朝 鮮 語	(7) 9	(0) 3	(16) 25	(23) 37	(16) 21	(15) 24	(33) 63	(64) 108
	モ ン ゴ ル 語	(3) 3	(4) 4	(5) 6	(12) 13	(15) 19	(15) 21	(13) 19	(43) 59
東南アジア課程	インドネシア語	(0) 0	(13) 13	(9) 13	(22) 26	(0) 3	(22) 25	(30) 35	(52) 63
	マレーシア語	(2) 2	(1) 1	(7) 10	(10) 13	(8) 9	(5) 8	(21) 31	(34) 48
	フィリピン語	(1) 2	(3) 4	(4) 7	(8) 13	(15) 16	(4) 8	(16) 24	(48) 35
	タ イ 語	(2) 2	(5) 7	(12) 15	(19) 24	(7) 7	(23) 29	(33) 38	(63) 74
	ラ オ ス 語	(0) 1	(2) 3	(3) 5	(5) 9	(0) 3	(5) 7	(7) 12	(12) 22
	ベ ト ナ ム 語	(0) 1	(2) 2	(8) 13	(10) 16	(7) 11	(9) 12	(19) 34	(35) 57
	カンボジア語	(2) 2	(6) 7	(1) 2	(9) 11	(5) 5	(9) 11	(7) 10	(21) 26
南・西アジア課程	ビルマ語	(2) 3	(1) 1	(7) 9	(10) 13	(6) 8	(11) 13	(20) 26	(37) 47
	ウルドゥー語	(2) 3	(6) 7	(2) 3	(10) 13	(6) 7	(21) 22	(15) 27	(42) 56
	ヒンディー語	(0) 0	(4) 7	(6) 10	(10) 17	(0) 0	(12) 17	(18) 24	(30) 41
	アラビア語	(1) 2	(1) 1	(12) 13	(14) 16	(2) 3	(10) 16	(18) 25	(30) 44
	ペルシア語	(0) 0	(3) 5	(5) 12	(8) 17	(0) 1	(12) 18	(23) 36	(35) 55
日本課程	トルコ語	(3) 3	(3) 4	(8) 12	(14) 19	(6) 7	(6) 11	(21) 33	(33) 51
	日 本 語	(9) 10	(2) 4	(2) 2	(13) 16	(26) 32	(3) 6	(11) 11	(40) 49
小 計		(97) 145	(162) 218	(275) 406	(534) 769	(333) 472	(540) 741	(922) 1,335	(1,795) 2,548
合 計					(534) 769				(1,795) 2,548

- (注) 1. 平成13年9月卒業者を含む。
2. ()内は、女子を内数で示す。
3. 累計は、平成7年度以降の東京外国語大学の卒業者数を示す。
4. 日本課程の在学者数下段は、外国人留学生である。

大学院（博士前期課程）

研究科	専攻	平成13年度	累計
地域文化研究科	ヨーロッパ第一専攻	15(9)	107(63)
	ヨーロッパ第二専攻	14(8)	99(58)
	ヨーロッパ第三専攻	6(2)	54(27)
	アジア第一専攻	24(13)	140(77)
	アジア第二専攻	12(6)	64(45)
	アジア第三専攻	5(3)	37(23)
	日本専攻	39(26)	181(141)
合計		115(67)	682(434)

大学院（博士後期課程）

研究科	専攻	平成12年度	累計
地域文化研究科	地域文化	7(4)	31(22)

（注）内は、女子を内数で示す。

平成4年度に下表の外国語学研究科と地域研究研究科を改組し、地域文化研究科を設置した。

大学院（修士課程）

研究科	専攻	累計
外国語学研究科	ゲルマン系言語専攻	170(41)
	ロマンス系言語専攻	179(56)
	スラブ系言語専攻	70(16)
	アジア第一言語専攻	75(18)
	アジア第二言語専攻	36(17)
	アジア第三言語専攻	30(12)
	日本語学専攻	135(89)
	小計	695(249)
地域研究研究科	地域研究専攻	167(71)
	小計	167(71)
合計		862(320)

（注）内は、女子を内数で示す。

平成13年度卒業生・修了者進路状況

(平成14年5月1日現在)

専攻語・研究科	区分	卒業者数		進学者数		就職者数		内 訳														以外 その他・左記					
		卒	業	進	学	就	職	生	商	金	運	マ	サ	団	官	教	不	分									
		者	数	者	数	者	数	産	業	融	輸	ス	コ	ミ	サ	体	公	庁	職	明	類	者	数				
外国語学部	英語	82	31 51	17	9 8	44	14 30	5	3 4	1 3		1 2	7 12		2	1 1	1 1			21	8 13						
	ドイツ語	59	19 40	6	4 2	30	10 20	3 5	4	2 3	1 1		1 1	5 5	2 1	1				23	5 18						
	フランス語	66	19 47	7	3 4	34	11 23	1 5	3 2	1 2	2		1 1	3 8	2 2	1				25	5 20						
	イタリア語	21	8 13	4	3 1	11	3 8	1 2	1 1	1		1	2	1			1				6	2 4					
	スペイン語	63	15 48	4	2 2	38	5 33	2 8	2	1 1	1 4		6	1 7	3	2				21	8 13						
	ポルトガル語	25	5 20	2	2	18	4 14	1 4	2	1	1 4			1 2	1 1					5	1 4						
	ロシア語	75	25 50	14	7 7	33	8 25	2 2	1 4	1 6	2		1 1	1 7	2 1	2				28	10 18						
	ポーランド語	6	1 5	2	1 1	2	2	1	1												2	2					
	チェコ語	8	3 5			6	2 4	1 1	1		1	1			1						2	1 1					
	中国語	63	27 36	7	3 4	41	18 23	7 8	3 2	4	1 2	1 2	2 7		2						15	6 9					
	朝鮮語	37	14 23	3	1 2	25	12 13	4 1	1	3	2 1	3	2 4		1	2	1				9	1 8					
	モンゴル語	13	1 12	3	3	6	1 5					1 1	3		1						4	4					
	インドネシア語	26	4 22	4	4	17	3 14	4	2		1 4	1	1 3		1						5	1 4					
	マレーシア語	12	3 9	1	1	10	2 8	1 3	1	1				3							1	1					
	フィリピン語	13	5 8	2	2	6	1 5	3			1 1			1							5	4 1					
	タイ語	24	5 19	1	1	15	3 12	1 3		1 2			1 1	4	2						8	2 6					
	ラオス語	9	4 5			4	3 1				1	1 1	1								5	1 4					
	ベトナム語	16	6 10	2	2	12	6 6	4	2		1	1 1	1 1		1						2	2					
	カンボジア語	11	2 9	1	1	7	2 5	1 1		1	1			2						1	3	3					
	ビルマ語	13	3 10	1	1	10	3 7	3 1	1	2				2							1	2	2				
	ウルドゥー語	13	3 10			10	3 7	2 4	1				1	2							3	3					
ヒンディー語	17	7 10			11	4 7	2	1		1	1 1	1 3							1	6	3 3						
アラビア語	16	2 14	1	1	10	1 9	4			1			5							5	5						
ペルシア語	18	10 8	2	2	10	7 3	5 1		1				1	1					1	6	3 3						
トルコ語	19	5 14	3	2 1	11	3 8	1 1	1					1 5	1					1	5	5						
日本語(日本人)	16	3 13	3	2 1	5	5	1					1	1	1					1	8	1 7						
日本語(留学生)	29	6 23	10	4 6	4	4	1	2											1	15	2 13						
合計		770	236 534	100	43 57	430	129 301	111	40 71	46	12 34	38	13 25	37	12 25	36	13 23	112	23 89	29	11 18	11	2 9	10	3 7	240	64 176
大学院	地域文化研究科 博士前期課程	121	49 72	20	7 13	17	7 10	1	1	5	2 3	1	1	2	1 1	2	2	2	2	4	1 3			84	35 49		
	地域文化研究科 博士後期課程	7	3 4			5	2 3												5	2 3			2	1			

(注) 上段は男子、下段は女子

附属図書館

University Library

蔵書数

(平成14年5月1日現在)

和漢書		洋書	
区分	図書の冊数	区分	図書の冊数
総記	19,911	総記	36,383
哲学	14,503	哲学	13,887
歴史	30,942	歴史	30,712
社会科学	42,466	社会科学	46,776
自然科学	6,748	自然科学	2,151
工学	2,668	工学	1,100
産業	3,753	産業	3,326
芸術	8,834	芸術	4,562
語学	17,857	語学	49,305
文学	48,190	文学	75,496
その他	24,093	その他	44,194
計	219,965	計	307,892

各国語別図書内訳

英語	73,343	ポルトガル語	10,412	ベトナム語	2,198
フランス語	21,908	中国語	47,300	ビルマ語	1,125
イタリア語	10,887	朝鮮語	10,633	アラビア語	4,373
ドイツ語	24,883	モンゴル語	4,488	ペルシア語	2,140
ロシア語	37,081	インド諸語	21,423	トルコ語	635
ポーランド語	483	インドネシア語	7,213	日本語	141,897
チェコ語	403	オランダ語	2,669	その他	77,438
スペイン語	20,836	タイ語	4,089	計	527,857

雑誌タイトル数

和漢雑誌	3,087	洋雑誌	1,601
------	-------	-----	-------



貴重図書・特殊文庫等

本図書館には、貴重図書として、明治維新前日本で出版された外国事情、外国研究書及び19世紀中葉以前発行の英・仏・独・露・葡・蘭各国語の図書1,262冊が、所蔵されている。特に、1755年ロモノーソフの「ロシア文法」(原本)は、初めての本格的文法書として世界的な貴重図書であり、また、1576年出版のD・ヌーネス・ド・レアン著「ポルトガル正書法」は、リスボン・ポルトガル文学黄金時代のもので、極めて貴重なものである。

また、特殊文庫として、以下のとおり5件、12,185冊の図書が所蔵されている。

諸岡文庫(主として中国語図書、8,300冊)

八杉文庫(主としてロシア語図書、941冊)

吉原文庫(主としてロシア語図書、864冊)

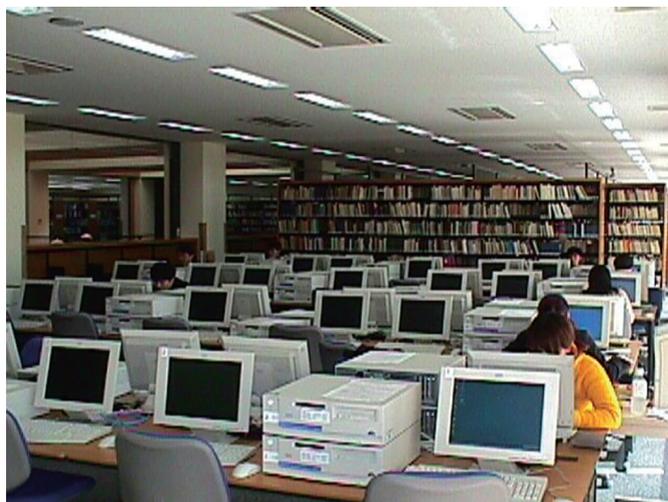
冠木文庫(主としてチェコ語図書、880冊)

蒲生文庫(主としてウルドゥー語、ペルシア語図書、1,200冊)

建 物

図書館の建物は、キャンパス移転に伴い平成12年3月竣工した、鉄筋4階建て、延べ面積6,930㎡規模のものである。閲覧座席は、端末の利用席も含め574席用意されている。

2階をメインエントランスにして各階毎に明確に機能を分け、それらを2階から4階までの3層吹き抜けで連結し、また大きなガラス窓を使って、開放感と一体感のある空間を構成している。



保健管理センター

Health Care Center

保健管理センターの主要業務は、学生及び教職員に関し、心身両面にわたる健康状態の保持・増進を支援し、これを通じて、就学及び就労環境を整備することにある。この理念のもとに、開放的環境の中で以下の項目に関し具体的運用を行っている。

業 務 内 容

1. プライマリケア・センター機能

診療、急性疾患に対する短期的投薬、他施設受診が必要な場合の紹介・受診指導

2. ヘルスプロモーション・センター機能

「疾患の早期発見と早期治療」を目的とした各種健康診断、「心身両面での広義の疾病予防と健康づくり」の増進を目的とした保健学習支援と生活習慣変革支援

健康診断種目： 春季定期健康診断 留学生健康診断 運動部員健康診断
女子学生貧血健康診断 教職員健康診断

付 帯 的 業 務：健康診断証明書の発行

3. メンタルヘルスケア・センター機能

メンタルヘルスにおける諸問題に関する予防と早期発見、カウンセラーによる精神保健相談、カウンセリングを通じての介入と援助、他施設受診が必要な場合の紹介・受診指導

4. 外国人留学生に対する健康支援センター機能

多様な文化的・保健的背景を保持しながら、不慣れな環境の中で勉学する外国人留学生に対する重点的保健支援

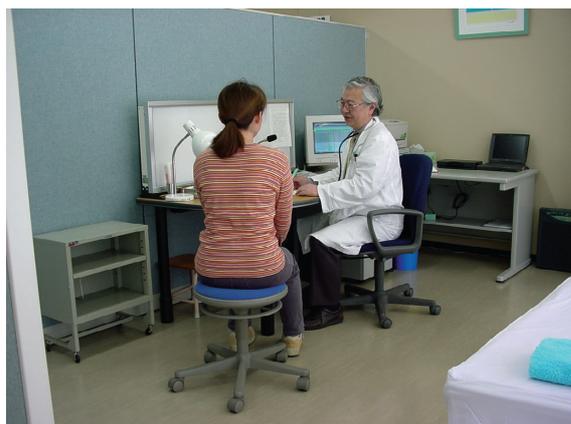
5. 健康情報発信センター機能

医師およびカウンセラーによる講義、教育・啓蒙パンフレット発行や各種教育イベントを通じての基礎的健康情報とアップデートな健康情報の提供

6. ヒーリングセンター機能

ヘルスプロモーションおよびメンタルヘルスケアを円滑に推進するためのヒーリング環境の提供

建物延面積	施 設 内 容
907.6㎡	診察室、処置室、薬局、検査室、シャワー室、カウンセリング室、多目的室、保健学習体験・ヒーリングコーナー、休養室、所長室、医師室、カウンセラー室、事務室、器材室



国際交流会館

International Hall of Residence

本学の教育及び研究に係る国際交流の促進に寄与するため、外国人留学生及び外国人研究者の寄宿並びにその他の事業の用に供する目的で設置され、昭和60年4月開館した。

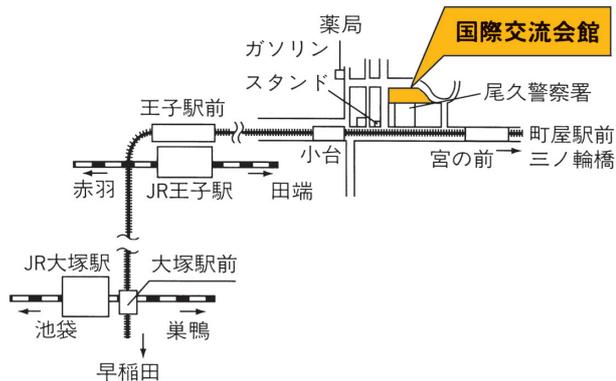
共用棟

	室名	面積
1階	事務室	16m ²
	主事室	14
	ホ－ル	77
	玄関ホ－ル	24
2階	資料展示室兼図書室	38
	会議室	38
	研修室	38
	和室	38
	談話室	29
延面積		575



居住棟

区分	種類	室数	面積
外国人研究者	单身室	2	18m ²
	夫婦室	2	36
	家族室	3	54～66
外国人留学生	单身室	男	34
		女	34
	夫婦室	3	36
	家族室	2	52～54
計		80	
延面積			2,291



本郷サテライト

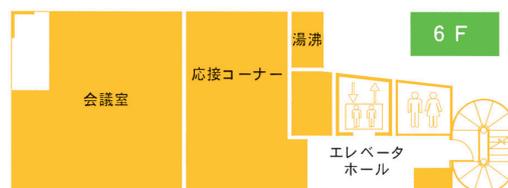
Hongo Satellite

東京外国語大学本郷サテライトは、教育、研究交流、社会人に対する教育の提供、情報の収集・提供等に資することを目的として設置され、平成13年5月10日にオープンした。

1階から8階までのフロアにはインフォメーションホール、事務室、交流室、セミナールーム、会議室、ライブラリーなどが置かれている。

開館時間 10:00~20:00

休館日 土、日、祝日及び12月27日~1月4日まで



所在地 〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-10
TEL 03(5805)3254



厚生施設

Facilities associated



大学会館

建物延面積	施設内容
2,758㎡ (2階建) 一階 1,603㎡	食堂(400席) ヘアサロン 売店 和室 ホールダイニング コピーコーナー ホール 屋外ステージ
2階 1,155㎡	食堂(170席) 教職員食堂(80席) 集会室A・B 大集会室 ギャラリー ホール

屋内運動場・課外活動施設概要

建物概要

構造	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
階数	地上5階・地下1階建て
建築面積	2,560㎡
延べ床面積	5,560㎡

各階のご案内

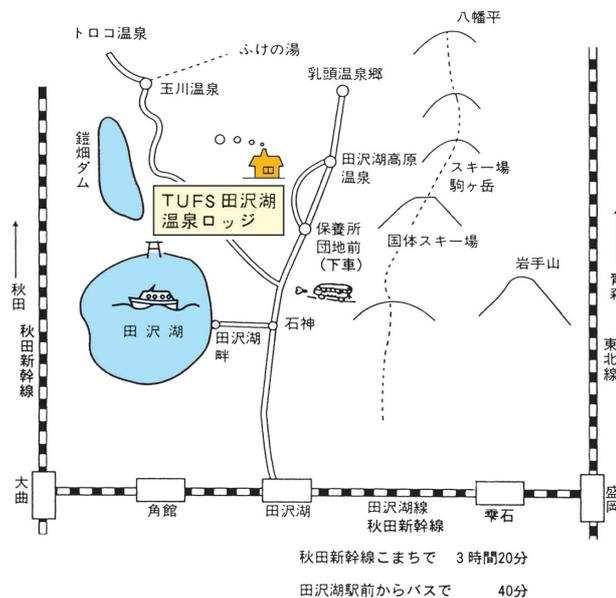
B 1	トレーニングセンター	220㎡	
	ダンススタジオ	220㎡	
	音楽練習室大	135㎡	
	音楽練習室B	110㎡	
	計測室	20㎡	
1 F	メインアリーナ	1,140㎡	バスケットボールコート 2面 バレーボールコート 2面 バドミントンコート 8面 テニスコート 2面 フットサルコート 1面
	実験室	160㎡	(3室合計)
	受付事務室	10㎡	
	学生連絡室	85㎡	(3室合計)
2 F	サブアリーナ	610㎡	バスケットボールコート 1面 バレーボールコート 1面 バドミントンコート 3面 テニスコート 1面
	音楽練習室A	90㎡	
	大集会室	70㎡	
	談話室	40㎡	
	製作室・暗室	70㎡	
3 F	サークル室1	110㎡	
	集会室1	45㎡	
	ダンス練習室	110㎡	
4 F	サークル室2	220㎡	
	集会室2	45㎡	
5 F	武道場	390㎡	柔道場・剣道場
	サークル室3	220㎡	
	集会室3	45㎡	



TUFS田沢湖温泉ロッジ (田沢湖高原研修施設)

建物延面積	施設内容
553m ²	研修室、ベッドルーム3室 (各室8名) 和室、教室、 食堂、談話室、洗面所、浴室

学生の研修の場として、鉄筋2階建2棟、鉄筋平屋建1棟が整備されている。施設附近の眺望は素晴らしく、豊富な温泉が湧き出しており、春の新緑、夏の登山、秋の紅葉、また冬はスキーにと四季を通じて利用されている。



戸田合宿研修所

建物延面積	施設内容
656m ²	合宿所 1棟 男子合宿室(3室) 食堂、厨房 合宿施設 1棟 女子合宿室(2室) 教室、ミーティングルーム、 浴室、洗面所 艇庫 2棟 (保有艇数12艇)

漕艇を中心とした課外活動棟の施設として、昭和52年に戸田オリンピックコースに面して設置された鉄筋2階建合宿研修所である。戸田オリンピックコースでは毎年5月中旬に、全学的な伝統行事として学内ボートレース大会(体力アップ漕技研修)を開催している。



学内附属 教育・研究施設

Education and Research Facilities associated with University

視聴覚教育センター

本センターは外国語及び文化一般の教育・研究を、視聴覚メディアを用いて実践するための機関として発足し、今日までに30以上の言語に及ぶ音声・映像資料を収集し、研究用資料・教育用教材として活用している。さらに本学教官によるオリジナル教材の作成や開発も行っている。府中キャンパスへの移転を契機として、これまで視聴覚教室に固定化されていたAV機器をすべての教室に完備し、全教室のマルチメディア化をめざした整備が進められている。

本センターのもうひとつの役割は、教官や学生による視聴覚メディアの利用を容易にすることである。研究講義棟2FのAVライブラリーでは、本センターに収集・管理されている音声・映像資料をAV機器とともに利用できるよう公開している。また、ここでは世界数ヶ国の言語の衛星放送視聴も可能である。近い将来には、衛星やインターネットを介して、教室と世界各地の街角とを結んだ授業が可能になるよう設備・機器の整備を行っていく予定である。



海外事情研究所

本研究所は、世界の各地の政治・経済・文化および国際関係の各般にわたる事情を研究調査することを目的に本学の学部に所属する教官を所員とし、昭和29年に外国語学部の附属施設として設置された。

所員各自の専門に応じて重点的にテーマを選び、調査・研究を遂行するとともに、研究所の課題にふさわしい共通課題を設置して共同研究を行うものである。近年は、地域研究 (Area Studies) という新しい学問分野を共通の基礎として、様々なディシプリンやアプローチの研究者がそれぞれ個別研究を深めるとともに、共通テーマを設置して共同研究を行っている。主な研究活動は次のとおりである。

- (1) 定期的な研究会を基礎に、科研プロジェクトを組織して研究を推進し、平成10年度から研究所機関誌として『Quadrante』を創刊した。
- (2) 個別研究報告の刊行 (122点)
- (3) 研究会、公開講座の開催
- (4) 本研究所創立35周年記念の連続講演会 (1990年度) の内容を中心に「海外事情研究所叢書」として、『転換期としての現代世界』(国際書院、1993年)、『変貌する現代世界を読み解く言葉』(同、1997年)が公刊された。

語学研究所

本研究所は1956年に外国語学部の附属施設として設置されたが、2002年に規程の改正が行われ、今年度から全学の附属施設として運営されることになった。現在までのところ、学部言語・情報講座の教官を中心に67名の所員が所属しているが、組織の改変に伴い新たな所員の拡充を行う予定である。再編された研究所の目的は、日本を含む世界諸地域の言語および言語教育ならびに言語科学一般について先端的な研究・調査を行うことにある。このような目的を達成するため、共同研究プロジェクト、個別言語および言語科学一般の研究、言語研究にかかわる情報処理に関する研究、研究・調査に必要な文献や資料の収集、研究成果の刊行、一般市民・学生を対象とする公開講座、講演会の開催などさまざまな活動を行うとともに、定期的な研究会およびセミナーなどを通じて所員による活発な意見や情報の交換を行っている。さらに今後は、言語に関する全学的な研究プロジェクトの拠点として研究所が中心的な役割を果たすことが期待されており、とりわけ言語教育および外国語と日本語の対照研究の分野に重点を置くことが検討されている。従来、研究所は研究課題として「世界各国の外国語研究と外国語教育機関に関する調査・研究」および「学内情報ネットワーク化推進とインフラ整備のための研究」を継続的な研究課題として取り上げてきたが、2001年度からは「グローバル言語文化情報アーカイブの作成」という課題に取り組んでいる。研究にあたってはコンピューターなどの新技术を積極的に活用しながら、言語理論を実際の言語教育に結びつけるとともに、専門分野間の枠を超えた多様な言語文化の知識・情報を学生や市民に提供するというを主要な目標としている。これらの研究成果は報告書として刊行されているほか、所員の研究成果は機関誌『語学研究所論集』により毎年公刊されている。研究所は、一般向けに研究成果を公開し、またフィードバックを受ける主な場として毎年公開講座を開催している。1997年度から3回にわたって「少数民族の言語と超民族語の世界」、2000年度からは「日本語から見た世界の言語—対照研究への招待」のシリーズを開催し、多数の受講生の参加を得ることができた。これまで行われた公開講座の内容の一部は『世界の辞書』（研究社、1992年）『世界の言語ガイドブック』（三省堂、2巻、1998年）として刊行された。

総合文化研究所

本研究所は、平成8年4月に本学外国語学部の附属施設として発足した、歴史的にも若い研究所である。所員は総勢51名、主に総合文化講座に所属する教官（教授・助教授及び助手）から構成されている。本研究所の目的とするところは、21世紀の戸口に立った今日、政治、経済、文化の既成の枠組みが大きな変動に曝されるなか、世界各地の文化・文学・芸術・人間科学の伝統と現状を総合的かつ複合的に研究調査し、新しい世界概念の構築に向けて、従来にない科学的、批評的視座を切り開くことにある。本研究所の活動は次の4つのプロジェクトを核として推進されており、その研究成果は主として機関誌『総合文化研究（Trans-Cultural Studies）』に反映されている。

- (1) 文学及び文化全般を対象とする国際的な比較研究
- (2) 20世紀表象文化の世界性／地域性／越境性
- (3) 異文化研究の原理と方法
- (4) 情報技術革命による人間諸科学のパラダイム変換の諸問題

本研究所における恒常的な催し物としては公開講演会、公開シンポジウム、公開講座の開催、総合文化研究所セミナーなどがあり、これまで「歴史と文学の対話」「外国文学を翻訳する」「迷路と無限」「文化は都市を結ぶ - 大きな戦争から第二次世界大戦へ」「世界の都市、その知られざる肖像」「アジアの表象文学の現在 - 伝統芸能篇」等の公開講座・公開シンポジウムが催されてきた。また、本学独立百周年に際しては、『言語と表象』と題する連続記念講演会を行い、多大な反響を得ることができた。本研究所は、今後、わが国のみならず世界に開かれた知的殿堂たることをめざし、所員同士のジャンル横断的交流をよりいっそう強化していきたいと考えている。

留学生日本語教育センター

Japanese Language Center for International Students

設置経緯

本センターは学内共同教育研究施設として平成4年4月10日に設置された。このセンターは昭和45年4月1日に国費外国人留学生のための教育施設として本学外国語学部附属として設置された「日本語学校」と、昭和61年4月5日に人文・社会系及び理工系の専門分野を志望する外国人留学生に対する日本語教授法及びこれに基づく各種教材の研究開発を目的とした学内共同教育研究施設として設置された「留学生教育教材開発センター」とを統合して設置された施設である。

目的

国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生等に対し、学部及び大学院の入学前予備教育を行うため、次に掲げる業務を行うことを目的としている。

- (1) 国費外国人留学生等に対する日本語、日本文化、日本事情及びその他必要とされる分野に関する教育を行うこと。
- (2) 国費外国人留学生等に対する日本語教育の推進に関すること。
- (3) 国費外国人留学生等に対する修学及び生活上の指導助言を行うこと。

組織

上記業務を行うため本センターに留学生教育部、日本語教育推進企画部及び留学生指導部を置いて、それぞれ次の業務を担当している。

部	業務内容
留学生教育部	国費外国人留学生等に対する日本語教育及びこれと連携する人文・社会・自然科学系諸分野の教育並びに教育工学的手法によるものを含む教材・教授法の開発
日本語教育推進企画部	外国教育施設に派遣する日本語教員の事前教育、外国における日本語教育に対する教員派遣を含む援助及び国内外における日本語教育情報ネットワークの企画・実施並びにこれに関連する教材・教授法の開発
留学生指導部	国費外国人留学生等の修学及び生活上の指導助言並びに寄宿舍の運営



平成14年度入学式(2002.4.10)



交歓会での自己紹介

平成14年度学部留学生・研究留学生国別専攻内訳

(平成14年5月1日現在)

国・地域名/専攻		学部留学生		研究留学生 (文科系)	計
		文科系	理科系		
アジア州	ネパール		1		1
	バングラディシュ		1		1
	スリ・ランカ		1		1
	ミャンマー		1(1)		1(1)
	タイ		2(1)		2(1)
	マレーシア		2(1)		2(1)
	インドネシア	2(2)	2		4(2)
	フィリピン			2(2)	2(2)
	モンゴル	9(2)	1		10(2)
	ヴェトナム		12(4)		12(4)
	カンボディア	5(2)			5(2)
	ラオス	3(1)		1(1)	4(2)
	中国(マカオ)		1(1)		1(1)
	イラン		2		2
大洋州	オーストラリア	1			1
	ミクロネシア	1(1)			1(1)
アフリカ州	タンザニア		1(1)		1(1)
ヨーロッパ州	ブルガリア	3(1)	3(1)		6(2)
	ハンガリー	1(1)	1		1(1)
	イタリア			1	1
	ポーランド			1	1
	ルーマニア	5(2)			5(2)
アメリカ州	アメリカ合衆国			1(1)	1(1)
	ブラジル		1(1)		1(1)
	コロンビア		2		2
計		30(12)	33(11)	6(4)	69(27)

(注) 内は内数で女子を示す。

アジア・アフリカ言語文化研究所

Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa

昭和36年の日本学術会議の勧告に基づき、昭和39年4月1日に設置された。人文・社会科学系では、わが国ではじめての共同利用研究所で、アジア及びアフリカの言語文化に関する総合研究並びにこれらの地域の言語に関する辞典の編纂及び教育訓練を行うことが主な目的となっている。

各所員がそれぞれの研究を行うほか、共同研究員制度を設け、所外の研究者との協力により共同研究プロジェクトを組織し、研究を進めている。

また、毎年アジア・アフリカの言語から3言語を選び、一般市民から募集した研修生に対し、短期の「言語研修」を実施している。(各言語約10名150時間)

その他海外での現地学術研究調査は、本研究所の重要な機能のひとつとなっているが、更に若手研究者を2年間現地に派遣し、現地での生活を通じて言語文化を吸収、体得させている。

なお、アジア・アフリカ地域の社会情勢の変化、情報技術の進展により適切に対応するため、平成3年度より、従来の16研究部門、1客員部門(外国人)を4大研究部門、1客員部門(外国人)に再編成した。

また、インターネットをはじめとする情報通信ネットワークを活用し、そのアジア・アフリカ言語文化研究への応用を図りつつ研究を高度化し、国内的・国際的な共同研究を推進するため、平成9年度より、附属情報資源利用研究センター(定員:教授2、助教授3、外国人客員1)を設置した。



アジア・アフリカ言語文化研究所

カンナダ文字の看板や壁書に満ち満ちたテナントビル
 (2000年11月インド・カルナータカ州
 マイソールにて 澤田英夫撮影)



研 究 組 織		
研究部門	研究分野	研究内容
言語文化基礎	言語文化理論、文化記号学、文化・社会動態	言語文化の構築を図るためにアジア・アフリカの言語文化を比較・分析し、歴史学、文化人類学、言語学など関連諸研究分野の成果を統合して理論化する。
言語文化情報	言語文化工学、映像音声学、言語情報処理、文化情報処理、情報開発(外国人客員)	アジア・アフリカの言語文化情報の分析・処理と新しい情報処理システムの構築、及び情報処理した言語文化情報の提供、共同利用・公開のための手法を開発する。
広域言語文化第一	東北アジア、東アジア、中央ユーラシア、東南アジア・オセアニア、南アジア(南部)、南アジア(北部)の各言語文化圏	東は沿海州より西はフィンランドあるいはインド亜大陸までを対象とする。人・物・情報の移動、流動化・多様化に対応し、学際的研究を行い、フィールドワークの成果を広域的な共同研究に集約するとともに、収集した言語文化情報を「言語文化基礎」・「言語文化情報」大部門との連携で分析する。
広域言語文化第二	西アジア(アラブ)、西アジア(非アラブ)、アフリカ(東部・南部)、アフリカ(西部、中部)の各言語文化圏	イスラム、アフリカ言語文化圏を対象とする。人・物・情報の移動、流動化・多様化に対応し、学際的研究を行い、フィールドワークの成果を広域的な共同研究に集約するとともに、収集した言語文化情報を「言語文化基礎」・「言語文化情報」大部門との連携で分析する。
比較言語文化論(外国人客員)		言語文化学の確立を図るために、外国人研究者(特にアジア・アフリカ諸国)を客員教授として招へいし、共同研究を推進する。
情報資源利用研究センター		アジア・アフリカの言語文化に関する情報資源の蓄積・加工・公開と、それを活用した共同研究手法の開発・国際学術交流を推進する。

情報処理センター

Information Processing Center

《情報処理センターの概要》

インターネットが社会基盤となり、IT教育は国家的プロジェクトとなっている。こうした状況のもと、本学の情報サービスのニーズに対応するため、情報処理センターは学内共同利用施設として、教育研究、学術情報サービス、コンピュータネットワーク、情報処理教育、附属図書館及び学務事務処理に関する効率的な情報処理事業の推進を図っている。

本センターは、21世紀にふさわしい新キャンパス・情報処理環境の充実を図ると同時に、世界各国に広がるインターネットを通じて、Eメールやニュース、WWW（ウェブページ）等の世界各地域に点在しているデータやソフトウェアの利用と、本学からの世界各地域への情報を発信する機能の一層の充実を図っている。

《特 徴》

〈学生一人あたりの台数としては全国の国立大学で最大規模〉

全学の構成員数の約15%にあたる620台のPCを導入した（約80%がWindows、約20%がMacintosh G4）PC250台規模の教室の設置（5教室合計）自由に使え200台規模のPCの設置。大学院生室（留学生利用場所も含む）及び共同研究室、3研究所へコンピュータを設置している。

〈超高速ネットワークの導入〉

基幹ネットワークには、光ファイバを利用する超高速最新鋭のギガビットEthernet（4Gbps）を導入している。末端もEthernet Switchによる高速スイッチングネットワーク（100Mbps）を実現した。インターネットアクセスでは、キャッシュサーバによる外部接続を実現し、高速化及びセキュリティを確保している。

〈Linuxクラスタサーバの導入〉

24時間365日ノンストップサービスを可能にする日本初のSMP Linuxクラスタサーバを導入している。

〈国内最大規模のユーザファイルシステム〉

1.5TB（テラ）バイト（全学では5.2TB）のSAN（Storage Area Network）を用いた大規模ファイルサーバを導入している。（テラバイト（TB）は、メガバイトの100万倍）



〈情報基盤としての多言語処理とCALLシステムの導入〉

日本初の外国語、外国学の教育に対応できる多言語（Unicode、ISO/IEC 10646、JIS X 0221への対応）及び日本語処理（日本発のJIS X 0213への対応）環境の導入をした。英語CALLシステム（ALC Net-Academy）を提供しているほか、多言語処理システム（Unitype社 Unitype Global Office（Proofing Tools（30言語分）を含む）を導入している。

〈充実したマルチメディアソフトウェア環境〉

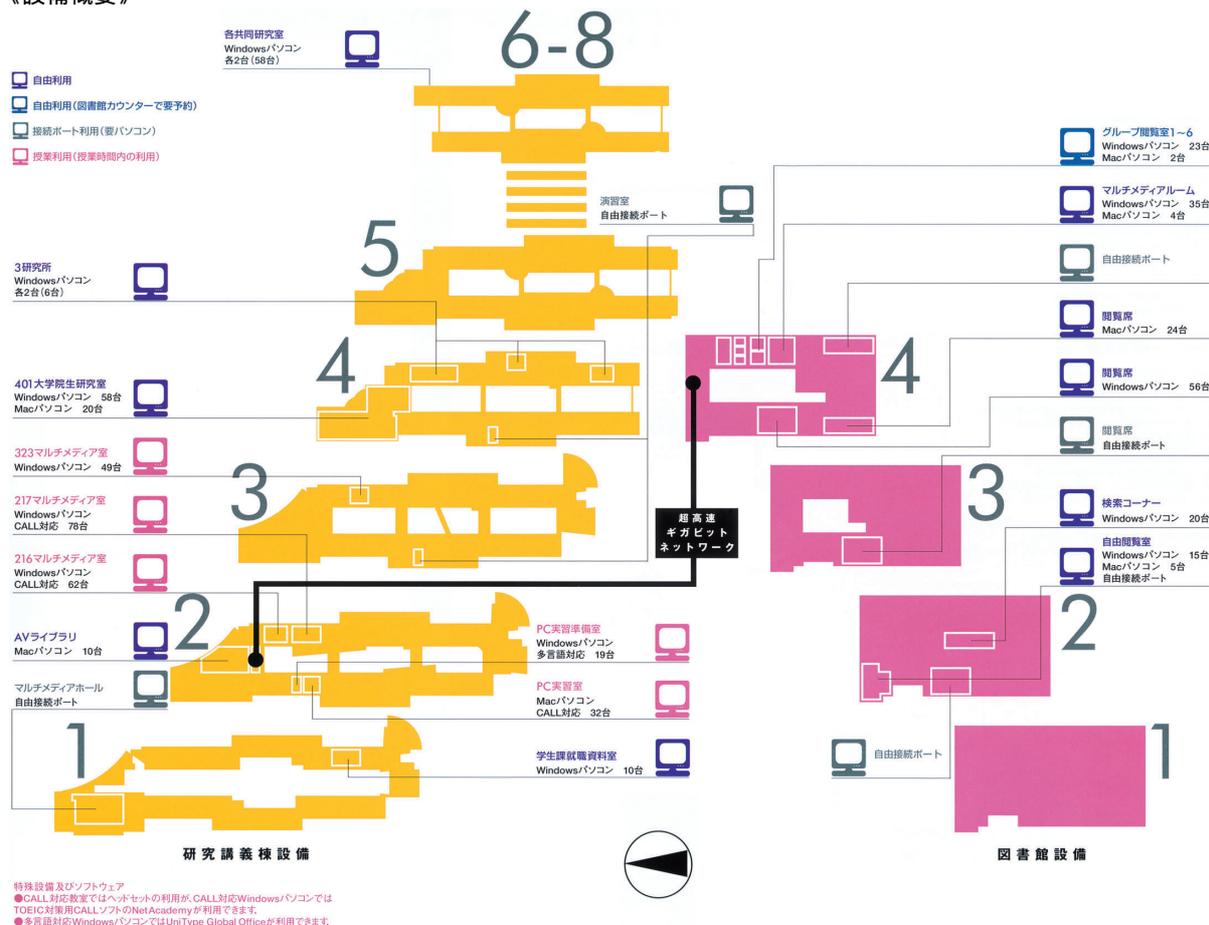
音声オーディオMP3編集、MIDI編集、ノンリニアデジタルビデオ編集、マルチメディアオーサリングソフトウェア（Director8 Shockwave Studio、Adobe Acrobat、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator）WEBオーサリングソフトウェア（Macromedia Dreamweaver3、Macromedia Fireworks2）を含むマルチメディアシステムを導入している。

〈多彩な周辺機器〉

AOポスターカラーインクジェットプリンタ、10連装CD-ROMデュプリケータ、MIDI、音声編集、高速カラー・モノクロプリンター、ビジュアルプレゼンター、プロジェクタ、各種記憶装置を含む多彩な周辺機器を導入している。



《設備概要》



《サービス概要》

Service

ホームページ	ファイルサービス、CGIスクリプトや掲示板の利用。
メール	メールアドレスの配布とメールサーバーサービス、メーリングリストサービス、Webメールサーバーの利用。
PC利用	コンピュータ利用アカウントの配布、ファイルサービス、及びオープン利用サービス(自由接続ポート)。
アクセス	アクセスポイント(ISDN接続、及びアナログ接続)。

Applications

パソコン

Windows PC	CPU	メモリ容量	内蔵ディスク容量	ディスプレイ	付属装置	ネットワークインターフェース	サウンドボード	OS
	Intel PentiumIII 700MHz 相当以上	256MB以上	20GB以上	17インチCRT/液晶ディスプレイ	DVD-ROMドライブ	100Base-TX	SB16互換以上	Windows98SE
Mac PC	CPU	メモリ容量	内蔵ディスク容量	ディスプレイ	付属装置	ネットワークインターフェース	サウンドボード	OS
	Power PC G4 500MHz相当以上	256MB以上	27GB以上	17インチCRT/液晶ディスプレイ	DVD-ROMドライブ	100Base-TX	標準装備	Mac OS 9

Softwares

標準アプリケーション・ソフトウェア

ワードプロセッサ	Microsoft Word
表計算ソフトウェア	Microsoft Excel
データベースソフトウェア	Microsoft Access
プレゼンテーションソフトウェア	Microsoft Power Point
ウェブブラウザ	Microsoft Internet Explorer, Netscape Communicator
通信 (FTP)	TeraTermPro, WS-FTP, BetterTelnet2
マルチメディア	RealPlayerBasic, Windows Media Player, iMovie, QuickTime Player
プログラム言語	Java, Active Perl, MacPerl
その他	Acrobat Reader

Specials

特殊ソフトウェア

ホームページ作成	Macromedia Dreamweaver3, Macromedia Fireworks2
音声編集	Over tube2
MP3	Sound it for Win
MIDI編集	Singer Song Writer
CG作成	Director8 Shockwave Studio, Adobe Acrobat, Adobe Photoshop, Adobe Illustrator, Shade Stand-alone Renderer R4
DV編集	Avid
CALL自習	ALC Net Academy

PC

特殊機器

プリンター	A0カラープリンタ装置
メディア転写装置	I0 連装CD-R/RW
スキャナー	カラー/モノクロスキャナプリンタ装置
マルチメディア	MIDI音源, シンセサイザー, サンプリング音源, サウンド入力用音楽キーボード
メディア記録装置	PCMCIA装置, CD-R/RW装置, DVD-RAM装置, Giga-MO装置, MO装置, ZIP装置

国際交流

International Cooperation and Exchange

国際交流協定

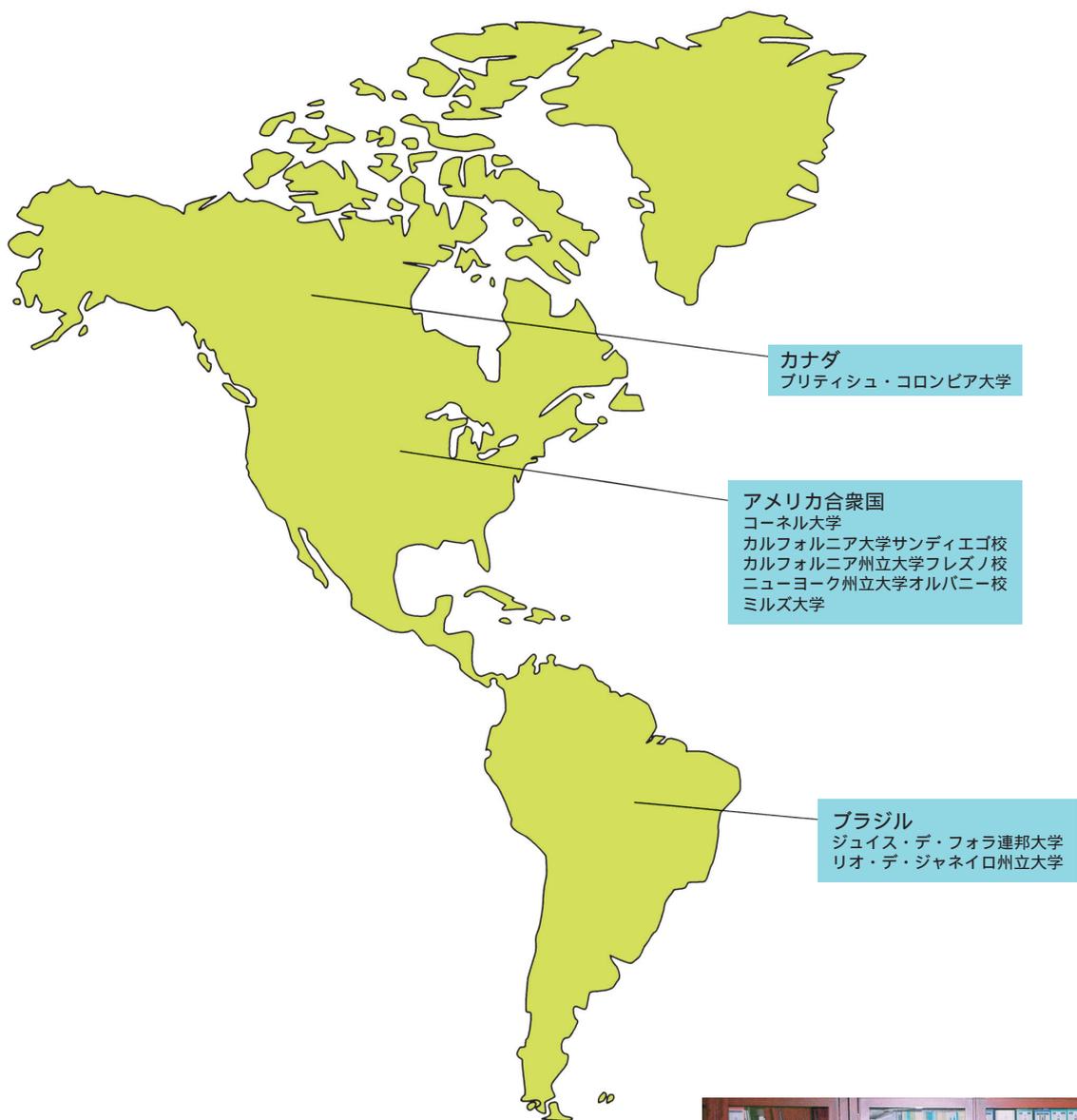
2002年5月1日現在

地域区分	国・地域	大学 / 研究所	締結年月日	備 考
アジア州 (15ヶ国1地域 28大学等)	カンボジア	王立プノンベン大学 Royal University of Phnom Penh	2000年4月5日	
	中 国	上海外国語大学 Shanghai Foreign Language University	1985年6月3日	
		北京語言文化大学 Beijing Language and Culture University	1994年12月11日	
		香港中文大学 The Chinese University of Hong Kong	2001年2月2日	
		香港大学 The University of Hong Kong	2001年7月9日	
	イ ン ド	文部省インド諸語中央研究所 Central Institute of Indian Languages, Ministry of Education	1987年8月13日	部局間協定 アジア・アフリカ言語文化研究所
		インド統計研究所 Indian Statistical Institute	1987年12月30日	部局間協定 アジア・アフリカ言語文化研究所
		アラハバード大学 University of Allahabad	1991年1月10日	
		デリー大学 The University of Delhi	1997年12月10日	
	インドネシア	ガジャマダ大学 Gajah Mada University	1998年6月9日	
		インドネシア科学院社会文化研究センター Center for Social and Cultural Studies, Indonesian Institute of Sciences	2000年10月23日	部局間協定 アジア・アフリカ言語文化研究所
		インドネシア大学 Universitas Indonesia	2001年10月9日	
	イ ラ ン	農業計画・経済研究センター Centre of Agriculture Planning and Economic Studies	1996年10月9日	部局間協定 アジア・アフリカ言語文化研究所
	韓 国	延世大学校 Yonsei University	1980年6月16日	学生交流
		ソウル大学校 Seoul National University	1992年5月27日	学生交流
	ラ オ ス	文化研究所 L'Institut des Recherches sur la Culture	1997年8月27日	部局間協定 アジア・アフリカ言語文化研究所
		ラオス国立大学 National University of Laos	1998年8月21日	
	マレーシア	マレーシア国立言語・図書研究所 Language and Literary Agency, Malaysia	1996年8月2日	
	モンゴル	モンゴル国立大学 National University of Mongolia	1996年4月22日	
	フィリピン	フィリピン国立大学 University of the Philippines	1996年7月3日	
シンガポール	シンガポール国立大学人文科学部 Faculty of Arts & Social Science, National University of Singapore	2000年4月7日		
シ リ ア	ダマスカス大学 University of Damascus	1996年9月24日		
タ イ	シーナカリンウィロート大学 Srinakharinwirot University	1990年4月1日		
ト ル コ	アンカラ大学 Ankara University	1997年8月28日		
	ボアジチ大学 Boğaziçi University	1998年11月12日		
ベ ト ナ ム	人文・社会科学大学(旧ハノイ総合大学) University of Social Sciences and Humanities	1989年12月10日		
台 湾	国立政治大学 National Chengchi University	1996年10月29日		
	国立台湾大学 National Taiwan University	1999年12月20日		

大洋州 (1ヶ国1大学)	オーストラリア	オーストラリア国立大学 The Australian National University	2001年4月27日	
アフリカ州 (3ヶ国3大学等)	カメルーン	国立科学技術研究機構 Délégation Générale à la Recherche Scientifique et Technique	1978年1月10日	部局間協定 アジア・アフリカ言語文化研究所
	エジプト	カイロ大学 Cairo University	1998年7月2日	学生交流
	マリ	マリ共和国人文科学研究所 L'Institut des Sciences Humaines	1988年7月23日	部局間協定 アジア・アフリカ言語文化研究所
ヨーロッパ州 (7ヶ国18大学等)	フランス	パリ第三大学 L'Université de la Sorbonne Nouvelle-Paris	1978年6月2日	
		チベット言語文化研究所 Langues et cultures de l'aire tibétaine	1988年5月6日	部局間協定 アジア・アフリカ言語文化研究所
		国立政治学研究院 Institut d'études Politiques de Paris Fondation Nationale des Sciences Politiques	2000年1月28日	
		フランス国立東洋言語文化学院 Institut national des langues et civilisations orientales	2001年9月20日	
	ドイツ	ビーレフェルト大学 Universität Bielefeld	1978年11月5日	学生交流
		ギーゼン大学 Justus Liebig-Universität Giessen	1978年11月6日	学生交流
		マールブルク大学 Philipps-Universität Marburg	1978年11月15日	学生交流
		エアランゲン大学 Friedrich Alexander Universität Erlangen-Nürnberg	1979年5月18日	学生交流
		ゲッチンゲン大学 Georg August-Universität Göttingen	1979年7月11日	学生交流
	イタリア	ナポリ東洋大学 L'Istituto Universitario Orientale di Napoli	1981年6月3日	
		ヴェネツィア大学 L'Università Degli Studi di Venezia	1988年11月18日	
		トリノ大学 University of Turin	2001年12月13日	
	ポルトガル	コインブラ大学 Universidade de Coimbra	1996年11月21日	
	スペイン	セビーリャ大学 Universidad de Sevilla	1996年5月21日	
		ボンペウ・ファブラ大学 La Universitat Pompeu Fabra	1997年12月16日	
	チェコ	カレル大学 Charles University	1999年2月1日	
	英国	ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院 The School of Oriental and African Studies, University of London	1997年7月17日	
		リーズ大学 University of Leeds	2000年3月17日	
NIS諸国 (2ヶ国2大学等)	ロシア	ロシア国立人文大学 Russian State University for Humanities	2000年9月5日	
	ウズベキスタン	タシュケント国立東洋学大学 Tashkent State Institute of Oriental Studies	1997年8月20日	
アメリカ州 (3ヶ国8大学等)	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学 The University of British Columbia, Canada	1996年1月17日	
	アメリカ合衆国	コーネル大学 Cornell University	1993年3月9日	
		カリフォルニア大学サンディエゴ校 University of California, San Diego	1994年4月12日	
		カリフォルニア州立大学フレズノ校 California State University, Fresno	2001年4月26日	
		ニューヨーク州立大学オルバニー校 The University at Albany, State University of New York	2001年4月26日	
		ミルズ大学 Mills College	2001年4月26日	
	ブラジル	ジュイス・デ・フォラ連邦大学 Universidade Federal de Juiz de Fora	1998年2月25日	
リオ・デ・ジャネイロ州立大学 Universidade do Estado do Rio de Janeiro		2000年4月25日		
31ヶ国 1地域 60大学等				

交流協定締結国





インドネシア大学との調印式
(2001.10.9)



国際交流の夕べ

国際教育プログラム

本学では、1998年10月から短期留学生のための国際教育プログラム (International Student Exchange Program of Tokyo University of Foreign Studies [ISEPTUFS]) を開始した。

本プログラムは日本人学生、留学生相互の国際交流を推進し、さまざまな国の大学生どうしの知的交流を深め、国際性豊かな人材を養成することを目的に、本学の専門分野および副専攻語 (日本語) の学習をすることで、高度な知識と国際的視野を習得させるものであり、留学生に対しては「日本で学ぶ」機会を与え、日本人学生に対してはいわば「学内留学」の機会を与えるものである。

対象学生

- (1) 東京外国語大学と学生交流に関して協定や合意書等を交わしている大学に在籍している正規の学生を対象とする。
- (2) 原則として勉学に支障のない英語力を持っていることを条件とする。
(日本語の学習経験は条件とはしないが、渡日前の日本語の学習を奨励している。)
- (3) 本学の学生については総合科目 として開講されている専門科目の受講を認める。

留学生受入人数

約20名

プログラムの概要

本プログラムは、日本語、日本理解、国際理解からなる共通プログラムと留学生各自の専門分野に応じた専門プログラム (自主研究) とで構成されている。これらの具体的な履修計画は、指導教官の指導・助言の下に、留学生個人の研究課題や日本語能力等に応じて柔軟に編成される。

単 位

所定の成績を修めた者には、東京外国語大学の規定に基づき単位が与えられる。

ただし、認定単位数及び学位に関係する単位に認定されるかどうかは、派遣大学の判断となる。

大学の財政状況

University Finances

歳入

国立学校特別会計

(単位：千円)

区 分	11年度	12年度	13年度
授業料及入学検定料	2,050,020	2,098,529	2,175,987
雑収入	162,960	54,622	162,393
計	2,212,980	2,153,151	2,338,380

歳出

国立学校特別会計

(単位：千円)

区 分	11年度	12年度	13年度
国立学校	4,889,045	5,365,733	5,126,212
研究所	980,643	912,491	1,032,596
産学連携等研究費	2,570	3,882	22,240
施設整備費	8,164,873	4,863,988	2,276,339
計	14,037,131	11,146,094	8,457,387

一般会計

(単位：千円)

区 分	11年度	12年度	13年度
文部本省	296,759	225,193	
学校教育振興費	19,281	21,852	17,371
文部科学本省		80,074	318,186
計	316,040	327,119	335,557

奨学寄附金受入状況 平成11年度～13年度

受入年度	受入件数 (件)	受入総額 (千円)	外国語学部		保健管理 センター		留学生日本語 教育センター		アジア・ア フリカ言語 文化研究所		その他	
平成11年度	2	131,400	—	—	—	—	—	—	1	1,400	1	130,000
平成12年度	6	26,795	1	100	—	—	—	—	3	6,695	2	20,000
平成13年度	6	111,192	1	50	1	1,800	—	—	3	4,900	1	104,442

受託研究受入状況 平成11年度～13年度

受入年度	受入件数(件)	受入総額(千円)	委 託 者
平成11年度	1	2,220	工業技術院電子技術総合研究所
平成12年度	3	3,345	産業技術総合研究所地質調査所 産業技術総合研究所電子技術総合研究所
平成13年度	2	1,393	独立行政法人産業技術総合研究所

民間等との共同研究受入状況 平成11年度～13年度

受入年度	受入件数(件)	受入総額(千円)	委 託 者
平成11年度	1	420	(株)公文教育研究会
平成12年度	1	420	(株)公文教育研究会
平成13年度	1	420	(株)公文公教育研究所

科学研究費補助金交付決定状況 平成13年度

研 究 種 目		件 数(件)	金 額(千円)
特 定 領 域 研 究	(A)1	1	400
	(A)2	6	12,600
基 盤 研 究	(A)1	3	34,840
	(A)2	4	34,840
	(B)1	1	5,300
	(B)2	6	25,700
	(C)1	2	2,400
	(C)2	18	21,200
萌 芽 的 研 究		1	1,000
奨 励 研 究 (A)		2	1,700
C O E 形 成 基 礎 研 究 費		1	90,000
計		45	229,980

土地・建物

Land and Building

土地面積

(単位：㎡)

地 区	校舎等 敷地	屋 外 運 動 場	研修施設 敷 地	国際交流 会館敷地	外 国 人 教師宿舎 敷 地	職員宿舎 敷 地	合 計
府 中 地 区	10,622						10,622
西ヶ原地区	28,506	16,624					45,130
西尾久地区				3,639			3,639
戸 田 地 区			1,665				1,665
府中住吉町地区	6,544	2,734					9,278
田 沢 湖 地 区			4,488				4,488
吉 祥 寺 地 区					1,223		1,223
保 谷 地 区						2,805	2,805
滝野川地区						2,031	2,031
本 郷 地 区	95						95
合 計	45,767	19,358	6,153	3,639	1,223	4,836	80,976

建物面積

(単位：㎡)

地 区	校舎	図書館	体育館	福祉施設	研修施設	国会 国際交流館	寄 宿 舎	そ 管 の 理 他 部	外 教 師 宿 舎	研 究 所	職 員 宿 舎	合 計
府 中 地 区	31,099	6,930	5,660	3,884				4,512		8,149		60,264
西ヶ原地区	20,727	3,888	1,565	1,981				7,245		4,013		39,419
西尾久地区						2,876						2,876
戸 田 地 区					653							653
府中住吉町地区	2,824		763				1,447	271				5,305
田 沢 湖 地 区					580							580
吉 祥 寺 地 区									764			764
保 谷 地 区											1,731	1,731
滝野川地区											1,919	1,919
本 郷 地 区	777											777
合 計	55,427	10,818	7,988	5,865	1,233	2,876	1,447	12,058	764	12,162	3,650	114,288

府中キャンパス

Fuchu Campus

21世紀という、世界の諸文化の相互理解と国際交流の時代を迎えた今日、本学における教育・研究の果たすべき役割には、さらなる一層の飛躍が求められている。

このような社会のニーズに応え、かつ国際化、情報化、または個性化に対応するためには、広くゆとりのある敷地に移転統合し、施設・設備等の拡充・整備を図る必要がある。

平成12年10月より、府中新キャンパスにて外国語学部及び大学院の授業が始まり、アジア・アフリカ言語文化研究所は、平成14年2月に移転が完了した。

留学生日本語教育センターは、平成15年度の移転を目途としている。



西アライバルコート



研究講義棟

研究講義棟は、「対話と交流をベースとして世界に開かれたキャンパス」づくりの基本理念に基づき具現化した、21世紀に向け真に国際的なリーダーたり得る人材の育成を目指した教育・研究施設である。



附属図書館

図書館は研究講義棟など、他の施設との機能性や利便性、将来計画への対応等を考慮し、キャンパス全体を眺む中央広場北側に配置。大学内の情報・資料の中核という特徴から、各施設を結ぶ回廊の中心軸に合わせて配置されている。



アジア・アフリカ言語文化研究所

当研究所は社会学系の全国共同利用機関として先導的な役割を期待されている研究施設であることから、交流部門・情報資源部門・研究室部門を階別に配置した、多様かつ高度な機能を備えた施設である。



大学会館

大学会館は教育・研究を支え、活性化を促す場として教室外に於ける学生生活の中心的施設である。日常的人間関係を緊密にし、趣味・嗜好・研究等を通じて相互に啓発し、人間形成を図る場として捉え、各施設が面する中央広場とプロムナードからアクセスできる配置としている。



保健管理センター

学生をはじめ教職員も利用しやすく且つ、緊急車輛のアクセスの容易さも考慮し、事務局庁舎南側に配置し、事務局庁舎と一体化した外観構成としている。西側は壁で囲い、利用者が外部から容易に見ることがないようにプライベート空間を確保している。



事務局庁舎

1階に学生の諸手続きの窓口となる学務部をオープンタイプでまとめ、効率的なサービスを提供できるよう配慮されている。2階に研究講義棟からの連絡性を考慮し会議室を、3・4階には事務管理部門を配置し、キャンパス全体を見渡せる5階には、学長室・副学長室・事務局長室が置かれている。



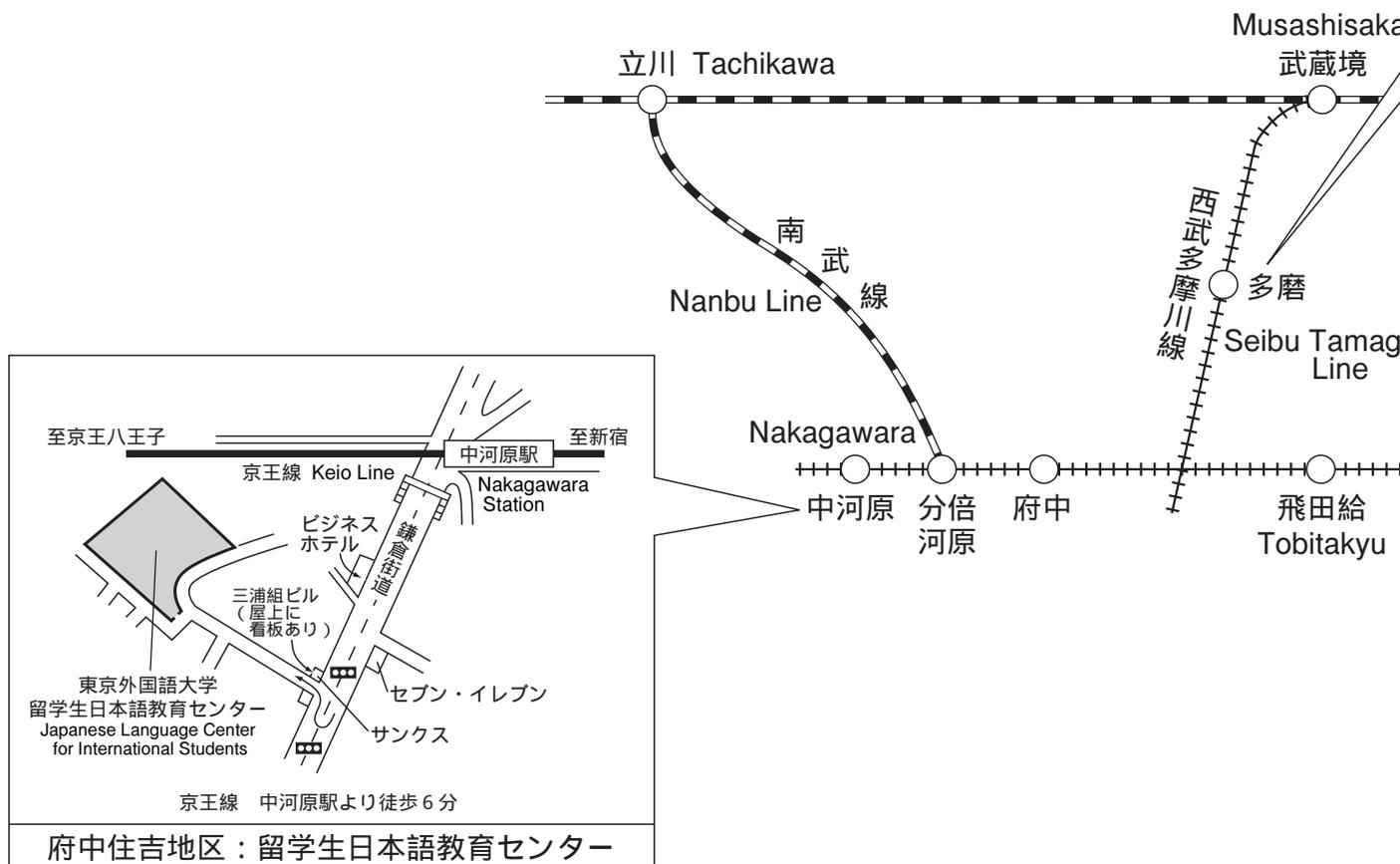
府中新キャンパスの鳥瞰図

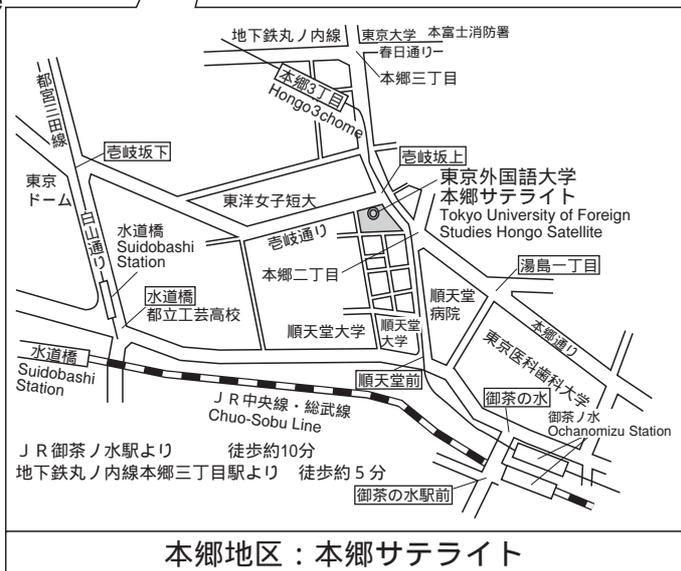
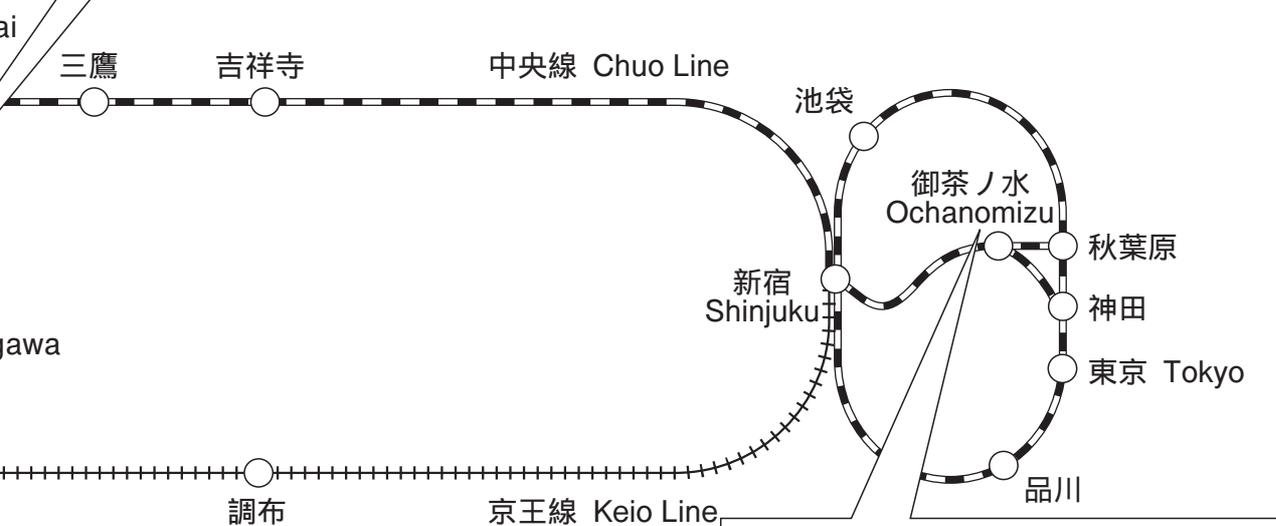
・敷地面積：約130,000㎡
 ・建物計画延面積：約 67,000㎡

案内図・所在地

Guidance and Location of Present Facilities

区 分	所 在 地	電話番号	ファックス番号
事 務 局	〒183-8534 東京都府中市朝日町3 - 11 - 1	042 330 5111 (代)	042 330 5140 (総務課)
学 務 部			
外 国 語 学 部			
大学院地域文化研究科			
附 属 図 書 館			
保 健 管 理 セ ン タ ー	〒183-0034 東京都府中市住吉町5 - 10 - 1	042 365 0311 ~ 2	042 368 0393
ア ジ ア ・ ア フ リ カ 言 語 文 化 研 究 所			
留 学 生 日 本 語 教 育 セ ン タ ー	〒116-0011 東京都荒川区西尾久3 - 8 - 12	03 3800 5931	
国 際 交 流 会 館	〒335-0024 埼玉県戸田市戸田公園1 - 49	048 441 2586	
戸 田 合 宿 研 修 所	〒014-1201 秋田県仙北郡田沢湖町生保内 字駒ヶ岳2 - 16	0187 46 2730	0187 46 2730
TUFS 田沢湖温泉ロッジ (田沢湖高原研修施設)	〒113-0033 東京都文京区本郷2 - 14 - 10	03 5805 2254	
本 郷 サ テ ラ イ ト			







校章由来

1897（明治30）年に東京高等商業学校附属外国語学校として創立された本学が、1899（明治32）年、東京外国語学校として独立する際に、神田乃武校長をはじめ各教官協議の結果、この徽章を制定した。炬火（たいまつ）は、「光は世を照らす」ことを意味し、Lはラテン語のLinguaの頭文字をとった。左右の羽翼については、独立当初に教授した8語学科を意味しているといわれている。



発行 / 平成14年 6 月
編集 / 東京外国語大学広報委員会